

はじめにお読みください

東芝デジタル複写機

クイックスタートガイド

e-STUDIO255/355/455



第1章
使用前の準備

第2章
基本的な操作

第3章
消耗品の交換
／困ったときは

第4章
便利な使いかた

第5章
その他

はじめに

このたびは東芝デジタル複写機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書は、本機をお使いいただくための準備や基本的な使いかた、便利な使いかたなどについて説明しています。本機の機能を十分理解され、有効にご活用いただきますよう、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、本機を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

本機では、スキャン機能およびプリント機能はオプションです。お使いの機体によっては、すでにオプションが装着されている場合があります。

商標について

- Windows 2000 の正式名称は、Microsoft Windows 2000 Operating System です。
- Windows XP の正式名称は、Microsoft Windows XP Operating System です。
- Windows Vista の正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating System です。
- Windows Server 2003 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating System です。
- Windows Server 2008 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating System です。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、Safari、TrueType および LaserWriter は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader および PostScript は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefox ロゴは、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- IBM、AT および AIX は、International Business Machines Corporation の商標です。
- NOVELL、NetWare、NDS は米国 NOVELL, Inc. の商標または登録商標です。
- TopAccess は、東芝テック株式会社の登録商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

取扱説明書の構成

本機の取扱説明書の構成は以下のとおりです。目的に応じて各取扱説明書をお読みください。取扱説明書には印刷物のほか、User Documentation CD に PDF ファイルで収録されているものがあります。

印刷物

クイックスタートガイド 本書

クイックスタートガイドでは、本機をお使いいただくための準備や基本的な使いかた、便利な使いかたなどについて説明しています。

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくためには、本機を安全にお使いいただくためのお願いについて説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

PDF ファイル

コピーガイド

コピーガイドでは、本機操作パネルの [コピー] ボタンから行う操作や設定について説明しています。

スキャンガイド

スキャンガイドでは、本機操作パネルの [スキャン] ボタンから行う操作や設定および、インターネットファクスの操作や設定について説明しています。

ファイリングボックスガイド

ファイリングボックスガイドでは、本機操作パネルおよびファイリングボックス Web ユーティリティによる、ファイリングボックス機能の使いかたについて説明しています。

設定管理ガイド

設定管理ガイドでは、本機操作パネルの [設定 / 登録] ボタンや [カウンタ] ボタンから行う操作や設定について説明しています。

インストールガイド

インストールガイドでは、プリンタドライバやユーティリティのインストール方法について説明しています。

印刷ガイド

印刷ガイドでは、本機で印刷を行うために必要なプリンタドライバの設定や、いろいろな印刷方法について説明しています。

TopAccess ガイド

TopAccess ガイドでは、Web ベースの管理ユーティリティ「TopAccess」から本機のリモートセットアップやリモート管理を行う方法について説明しています。

トラブルシューティングガイド

トラブルシューティングガイドでは、本機のご使用中にトラブルと思われることが生じた場合の原因および対処方法について説明しています。

ネットワークファクスガイド

ネットワークファクスガイドでは、N/W-Fax ドライバの操作方法について説明しています。

AddressBook Viewer 取扱説明書

AddressBook Viewer 取扱説明書では、AddressBook Viewer の操作方法について説明しています。

Backup/Restore Utility 取扱説明書

Backup/Restore Utility 取扱説明書では、Backup/Restore Utility の操作や設定について説明しています。

Remote Scan ドライバ 取扱説明書

Remote Scan ドライバ 取扱説明書では、Remote Scan ドライバの操作や設定について説明しています。

TWAIN ドライバ / ファイルダウンローダ 取扱説明書

TWAIN ドライバ / ファイルダウンローダ取扱説明書では、「TWAIN ドライバ」および、本機のファイリングボックスに文書を取り込む際に必要なユーティリティ「ファイルダウンローダ」の操作や設定について説明しています。

PDF ファイル形式の取扱説明書を読むには

PDF ファイル形式で提供する取扱説明書は、Adobe Reader または Adobe Acrobat Reader をインストールしたコンピュータ上で閲覧・印刷できます。コンピュータに Adobe Reader または Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

本書の読みかた

本文中の記号について


本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

警告 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷^{*1}を負う可能性があること」を示しています。

注意 「誤った取り扱いをすると人が傷害^{*2}を負う可能性、または物的損害^{*3}のみが発生する可能性があること」を示しています。

注意 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補足 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

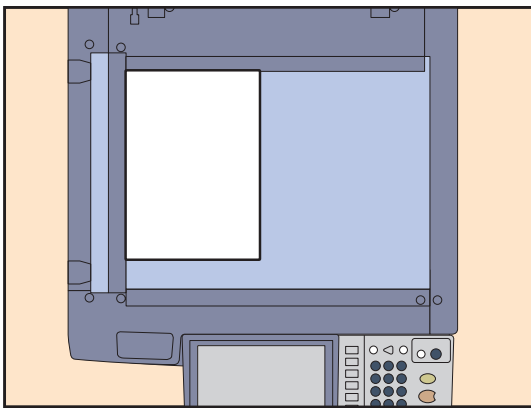
*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

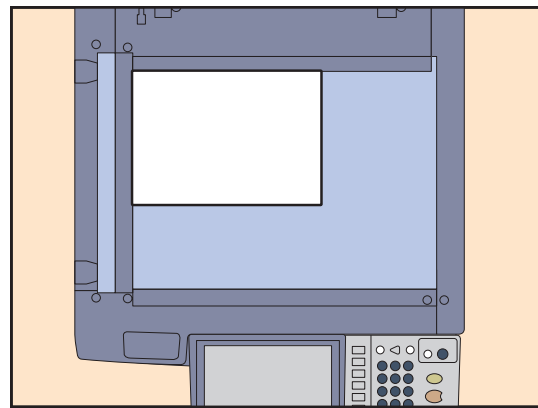
原稿や用紙のサイズの表記について

A4 や B5 サイズの原稿や用紙は、縦向きにも横向きにもセットできます。本書では、これらのサイズの紙を横向きにセットする場合、サイズの後ろに「-R」を付けて表記しています。

例) A4 サイズの原稿の場合



縦向きにセットした場合：A4



横向きにセットした場合：A4-R

なお、A3 や B4 サイズの紙は横向きにのみセットできます。横向きにのみセットするこれらの紙サイズの後ろには、「-R」を付けていません。

本文中の画面について

本書に掲載している画面は、オプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

もくじ

はじめに	1
取扱説明書の構成	2
本書の読みかた	4
推奨トナーカートリッジについて	6

第 1 章 使用前の準備

各部の名称と働き	8
電源の入れかた／電源の切りかた	16
カセットに用紙をセットする	19

第 2 章 基本的な操作

コピーの基本操作	22
ファクスの基本操作	26
スキャンの基本操作	30
ファイリングボックスの基本操作	32
プリントの基本操作	34
メニューの基本操作	36

第 3 章 消耗品の交換／困ったときは

トナーカートリッジの交換	38
ステイプル針の補充	39
日常のお手入れ	45
保守サービスについて	47
困ったときは	48

第 4 章 便利な使いかた

便利な使いかた	52
---------------	----

第 5 章 その他

付属品の確認	62
CD-ROM について	63
本機のクライアントソフトウェア	64
本機のオプション	66
部門コード等で機械の使用を管理している場合	69
本機の仕様	74
オプションの仕様	77

さくいん	85
------------	----

推奨トナーカートリッジについて

最適な印刷品質を得るため、東芝製純正トナーカートリッジのみの使用をお勧めします。推奨トナーカートリッジをお使いになりますと、本機が備える以下の3つの機能がご利用いただけます。

カートリッジチェック機能：

トナーカートリッジが本機に正しく挿入されているかチェックし、挿入されていない場合にお客様にお知らせする機能です。

トナー残量チェック機能：

トナーが残り少なくなるとお客様にお知らせする機能です。また、トナーが少なくなったことを弊社販売店に自動的に連絡する機能も備えています。

画質最適化機能：

トナーの特性に応じた制御を行うことで、最適な画質で印刷する機能です。

推奨品以外のトナーカートリッジをお使いの場合は、トナーカートリッジが挿入されているかどうか認識できない可能性があります。そのため、カートリッジが挿入されていても、画面に「トナーが認識されません」とメッセージが表示され、通常動作ができず、トナー残量チェック機能、弊社販売店への自動連絡機能および画質最適化機能もご利用になれない可能性があります。

推奨品以外のトナーカートリッジをお使いになるお客様で、不都合を感じる場合は、弊社販売店までご連絡いただければチェック機能の解除も可能です。ただし、この機能を解除しますと、推奨トナーカートリッジをお使いの場合でも、上記の機能をご利用になれなくなりますので十分にご注意ください。

第1章

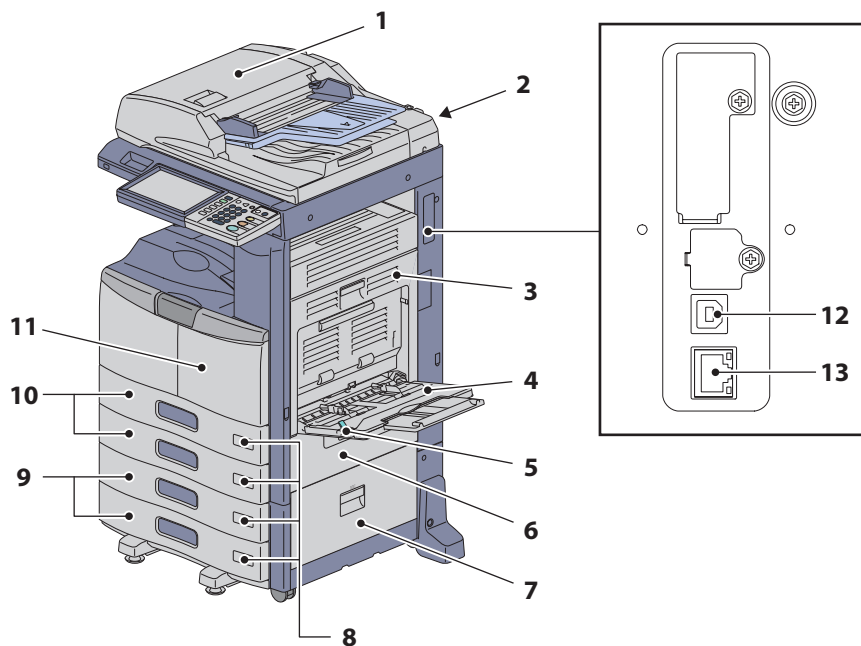
使用前の準備

各部の名称と働き	8
電源の入れかた／電源の切りかた	16
カセットに用紙をセットする	19

各部の名称と働き

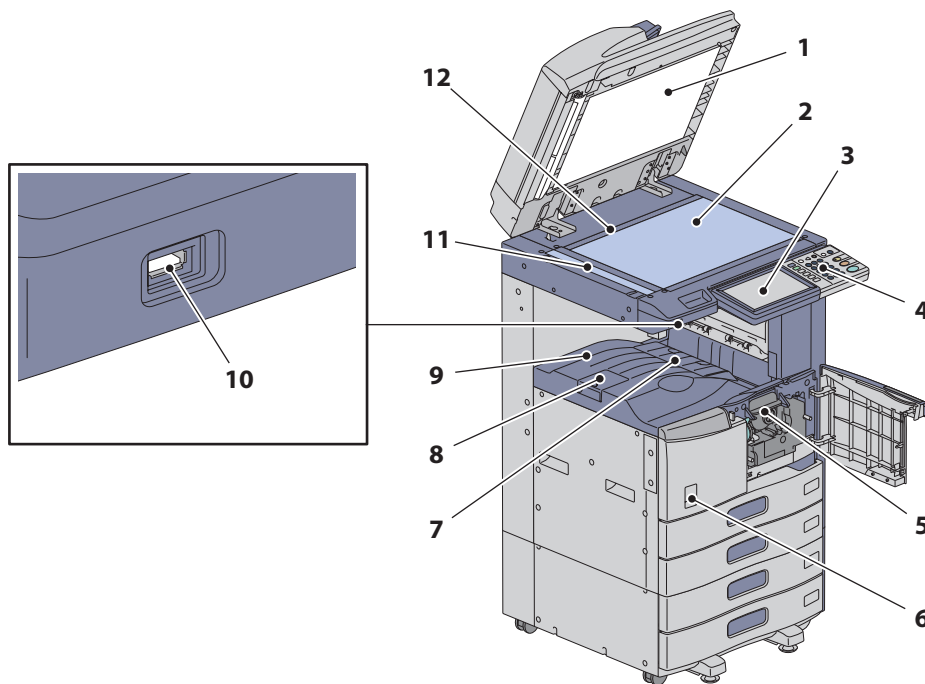
各部の名称とその働きについて説明します。

前面／右側面



- 1. 自動両面原稿送り装置（オプション、MR-3021/MR-3022）**
 セットした原稿を自動的に1枚ずつ読み込みます。原稿の両面を読み込むことができます。原稿を一度に最大100枚（または積載高さ16mm）までセットできます（セットできる枚数は原稿の種類によって異なります）。
- 2. 取扱説明書ポケット（背面）**
 取扱説明書を保管します。
- 3. 自動両面ユニット**
 用紙の両面にコピーするためのユニットです。紙づまり解除のときに開けます。
- 4. 手差しトレイ**
 はがき、OHPフィルムなどの特殊な用紙に印刷するときに使用します。
- 5. 用紙押さえレバー**
 手差しトレイに用紙を給紙するときに使用します。
- 6. 給紙カバー（本体）**
 給紙部の紙づまり解除のときに開けます。
- 7. 給紙カバー**
 オプションの多段給紙装置または大容量給紙装置の紙づまり解除のときに開けます。
- 8. 用紙サイズ表示窓**
- 9. 多段給紙装置（オプション、KD-1025J）と追加給紙カセット（オプション、MY-1033）、または大容量給紙装置（オプション、KD-1026J）**
- 10. 給紙カセット**
 普通紙を一度に最大550枚までセットできます。
- 11. 前面カバー**
 トナーカートリッジを交換するとき、チャージャをクリーニングするときなどに開けます。
- 12. USB端子（4ピン）**
 市販のUSBケーブルを使って本機をコンピュータに接続するときに使用します。
- 13. ネットワークインターフェイスコネクタ**
 本機をネットワークに接続するときに使用します。

左側面／内部

**1. 原稿押さえ**

☞ P.45 「日常のお手入れ」

2. 原稿ガラス

普通紙のほか、OHP フィルムやトレーシングペーパーなどの特殊紙や冊子、立体物などをコピーするときに使用します。

3. タッチパネル

コピーやファクスなど、各種機能の設定や操作を行います。

☞ P.13 「タッチパネルの名称と働き」

4. 操作パネル

コピーやファクスなど、各種機能の設定や操作を行います。

☞ P.10 「操作パネルの名称と働き」

5. トナーカートリッジ

☞ P.38 「トナーカートリッジの交換」

6. 主電源スイッチ

本機の電源をオンするときに使用します。

☞ P.16 「電源の入れかた／電源の切りかた」

7. 排紙補助トレイ

用紙をそろえて排紙するためのトレイです。詳細はトラブルシューティングガイドをご覧ください。

8. 排紙ストッパ

排出した用紙が落ちるのを防ぎます。A3 や B4 など、大きいサイズの用紙に大量にコピーや印刷するときに開いて使います。

9. 排紙トレイ

用紙が排出されます。

10. USB ポート

USB メディアに保存したファイルを印刷したり、スキャンデータを USB メディアに取り込むときに使用します。

11. 原稿読み取り部

オプションの自動両面原稿送り装置 (MR-3021/ MR-3022) によって送られてくる原稿が読み込まれます。

☞ P.45 「日常のお手入れ」

12. 原稿スケール

原稿ガラス上に置いた原稿の大きさを確認できます。

1

2

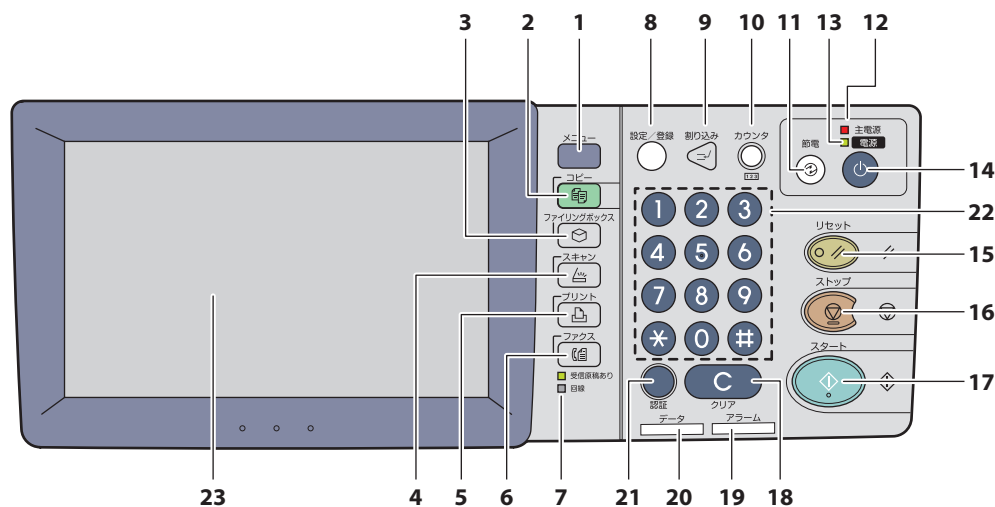
3

4

5

操作パネルの名称と働き

本体からの操作や各種設定は操作パネル上のボタンを使って行います。



1. **【メニュー】ボタン**
よく使うテンプレートを表示するときに押します。
2. **【コピー】ボタン**
コピー機能を使用するときに押します。
3. **【ファイリングボックス】ボタン**
保存した画像データを取り出すときに押します。
4. **【スキャン】ボタン**
スキャン機能を使用するときに押します。
5. **【プリント】ボタン**
プライベート印刷など、本機からプリント機能を使用するときに押します。
6. **【ファクス】ボタン**
ファクス／インターネットファクス機能を使用するときに押します。
7. **受信原稿あり／回線使用状況確認ランプ**
ランプの点灯で上記の状況が確認できます。このランプが点灯しているときでも、本機の操作は可能です。
8. **【設定／登録】ボタン**
カセットの用紙サイズやタイプ別カセットの設定、コピー、スキャン、ファクスの初期設定変更を含む設定／登録を行う場合に押します。このボタンの機能については、**設定管理ガイド**をご覧ください。
9. **【割り込み】ボタン**
印刷を一時中断して別の原稿のコピーをとりたいときに、このボタンを押します。もう一度押すと元の状態に復帰します。
10. **【カウンタ】ボタン**
カウンタを表示するときに押します。
11. **【節電】ボタン**
節電モードにするときに押します。
12. **主電源ランプ**
本機の主電源スイッチがオンになっているときに点灯します。
13. **電源ランプ**
本機の「電源」ボタンがオンになっているときに点灯します。
14. **【電源】ボタン**
本機の電源をオンまたはシャットダウンするときに押します。
15. **【リセット】ボタン**
このボタンを押すと、選択した機能がすべて解除され初期設定に戻ります。操作パネルで本機の初期設定を変更し、コピー、スキャン、ファクスなどの操作を行うと、「リセット」ボタンが点滅します。
16. **【ストップ】ボタン**
読み込みおよびコピー動作を停止させるときに使用します。
17. **【スタート】ボタン**
コピー、スキャン、ファクスの動作を開始するときに押します。
18. **【クリア】ボタン**
コピー部数などテンキーで入力した数字を訂正するときに使用します。
19. **アラームランプ**
機体に不具合が発生し、何らかの対応が必要な場合に点灯します。
20. **データ受信ランプ**
プリントデータなどを受信中に点灯します。

21. 【認証】 ボタン

部門管理機能やユーザ管理機能によって本機が管理されている場合に使用します。コピーなどを終えてからこのボタンを押すと、次に使用する人は、部門コードやユーザ情報を入力しないとコピー機能などを使用できなくなります。部門管理機能およびユーザ管理機能について詳しくは、**設定管理ガイド**をご覧ください。

22. テンキー

コピー部数、電話番号、パスワードなどを入力するときに使用します。

23. タッチパネル

コピー、スキャン、ファクスなどの各種機能の設定操作を行います。また、用紙切れ、紙づまりなどの表示も行います。

1

2

3

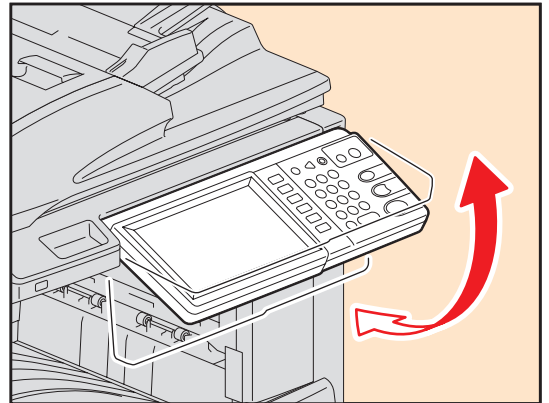
4

5

操作パネルの角度調整

操作パネルの角度を調整する

見やすい位置に、操作パネルの角度を 7 度から 84 度の範囲で調整することができます。



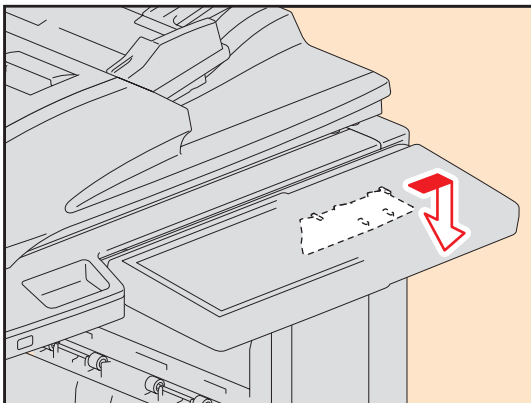
⚠ 注意

操作パネルの角度を調整する際には、機体と操作パネルのすき間に手を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

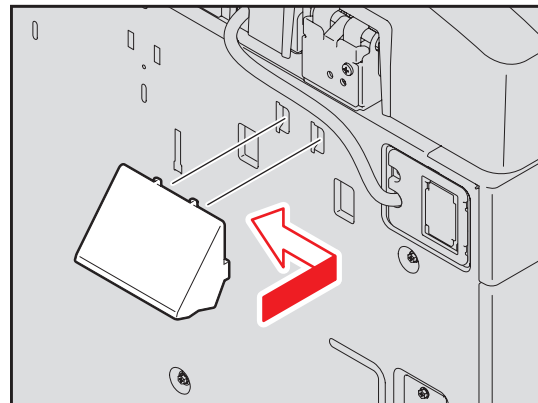
操作パネルの角度を固定する

操作パネル裏面のストッパを使用して、操作パネルの角度を固定することができます（水平に対して 7 度）。操作パネルを固定しない場合はストッパを取り外して、本機背面に取り付けてください。

ストッパを操作パネルから取り外す場合



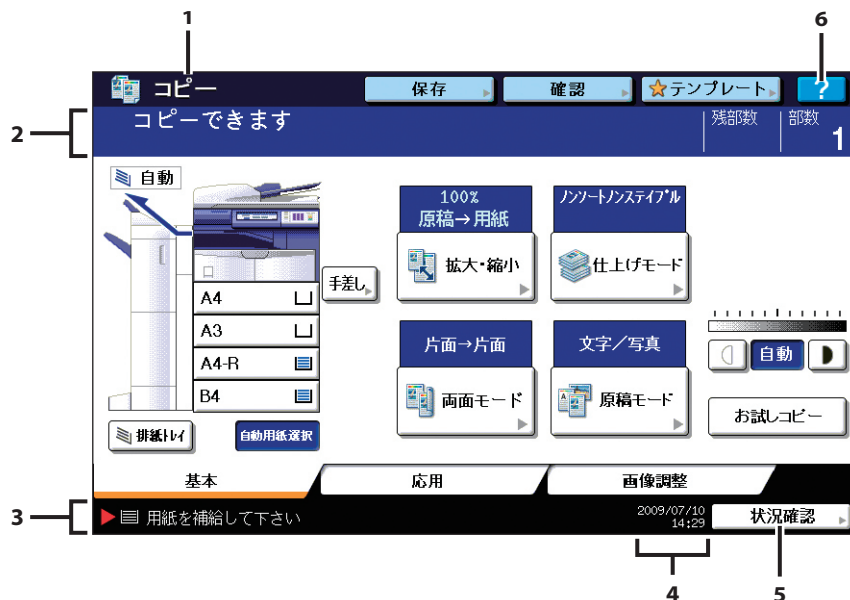
ストッパを背面に取り付ける場合



タッチパネルの名称と働き

電源投入時、タッチパネルにはコピー機能の基本画面が表示されます。また、機械の状態などがメッセージやイラストで表示されることもあります。

電源投入時に表示される画面はファクスなど、コピー機能以外の画面に変更することができます。詳しくは、弊社サービスエンジニアにお問い合わせください。



1. **機能表示**
コピーやファクスなど、使用中の機能を表示します。
2. **メッセージ表示エリア**
操作説明や本機の状態を表示します。
3. **アラートメッセージ表示エリア**
トナーカートリッジの交換時期などをお知らせします。
4. **日付表示**
5. **【状況確認】ボタン**
コピー、ファクス、スキャン、印刷などの進行状況や実行履歴を確認するときに押します。
6. **【ヘルプ】ボタン**
機能の説明や、タッチパネル上のボタンの説明を表示します。

メッセージ表示について

タッチパネルには、機械の状態、操作の指示、注意などのメッセージや、倍率、コピー部数、選択されているカセットの用紙サイズおよび用紙残量、日付時刻の情報が表示されます。

タッチパネル上のボタンについて

タッチパネル上のボタンを軽く指で押すと、機能の設定などができます。

1

2

3

4

5

機能設定の解除のしかた

選択されているボタンを押すと、機能設定が解除されます。また、何も操作しなくても一定時間経過すると、オートクリア機能*が働いて設定が解除されます。



* オートクリア機能：
出力終了後、または最後にボタンを押してから一定時間が経過すると働きます。[リセット] ボタンを押さなくても機能設定を自動的に初期設定の状態に戻します。部門管理機能またはユーザ管理機能を使用している場合は、部門コードまたはユーザ情報の入力画面に、使用していない場合はコピー機能の基本画面に切り替わります。

機体設置時の初期設定では、オートクリア機能が働くまでの時間は 45 秒に設定されています。
設定の変更については、[設定管理ガイド](#)をご覧ください。

タッチパネルの明るさを調整する

タッチパネルの明るさは [設定／登録] ボタンを押し、設定／登録メニューで設定することができます。詳しくは、[設定管理ガイド](#)をご覧ください。

文字入力のしかた

スキャン、ファイリングボックス、テンプレート、インターネットファクス機能などの操作過程で文字入力が必要なときに、以下の画面が表示されます。

ひらがな、カタカナ、漢字、英字、記号は画面から入力します。数字はテンキーで入力します。文字を入力し終わったら、[OK] を押してください。画面表示が切り替わります。



以下のボタンを押して、各入力画面に切り替えます。

以下のボタンは文字入力の際、必要に応じて使用します。

- [ひらがな]： ひらがな入力画面
- [カタカナ]： カタカナ入力画面
- [ローマ字]： ローマ字入力画面
- [英字]： 英字入力画面
- [区点コード]： 区点コード入力画面

* **設定管理ガイド**の「区点コード表」に記載されている文字を使うことができます。使用できない文字の区点コードが入力された場合、表示はされますが、[OK] を押すと「！」に置き換わります。

- [無変換]： ローマ字入力またはひらがな入力の際に、漢字に変換せずに確定入力します。
- [スペース]： 1文字分空けます。
- [変換]： ローマ字入力またはひらがな入力の際に、漢字に変換します。
- [] []： [変換] を押してから、使用したい漢字を選びます。
- [確定]： 変換した漢字に確定します。

- [バックスペース]： カーソルの前の文字を文字ずつ削除します。
- [] []： カーソルを移動します。
- [クリア]： 入力した文字をすべて削除します。

- [全角]： 全角入力に切り替えます（カタカナ入力画面、英字入力画面のみ）。
- [半角]： 半角入力に切り替えます（カタカナ入力画面、英字入力画面のみ）。
- [大文字]： 大文字入力に切り替えます（英字入力画面のみ）。
- [小文字]： 小文字入力に切り替えます（英字入力画面のみ）。
- [小字変換]： 直前に入力した文字を小書きにします（例：「よ」→「よ」）
（ひらがな入力画面、カタカナ入力画面のみ）。

- [キャンセル]： 文字入力を中止します。
- [OK]： 文書名、ファイル名などを設定するときに必ず押してください。

1

2

3

4

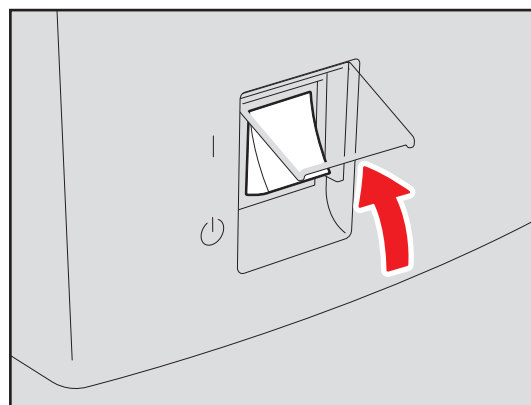
5

電源の入れかた／電源の切りかた

電源の入れかたと切りかたについて説明します。

電源を入れる

操作パネルの主電源ランプが点灯していない場合は、主電源スイッチカバーを開けて、主電源スイッチをオンにします。



操作パネルの主電源ランプが点灯している場合は、電源ランプが点灯するまで「電源」ボタンを押し続けます。



- ・ウォームアップを開始します。ウォームアップ中は、「おまちください ウォーミングアップしています」というメッセージが表示されます。
- ・ウォームアップ中に、予約コピーを行うことができます。詳しくはコピーガイドをご覧ください。

約 20 秒後に本機が使用可能な状態になり、「コピーできます」というメッセージが表示されます。

電源を切るときは、主電源スイッチを OFF にするのではなく、必ず操作パネルの「電源」ボタンを押して、シャットダウンしてください。(P.17「電源を切る (シャットダウンする)」)

「データ消去中」と表示されるときは

このメッセージは、データ消去オプション (オプション) を装着している場合に表示されます。電源を入れた直後や、本機を操作した後にこのメッセージが表示されますが、メッセージ表示中でも、本機は操作できます。

補足

部門管理機能やユーザ管理機能を使用して本機が管理されている場合には、コピーなどの操作を行う前に、部門コードやユーザ情報を入力する必要があります。詳しくは、P.69「部門コード等で機械の使用を管理している場合」をご覧ください。

電源を切る（シャットダウンする）

本機の電源を切るときには、必ず以下の手順でシャットダウンしてください。シャットダウンするときには以下の3点を確認してください。

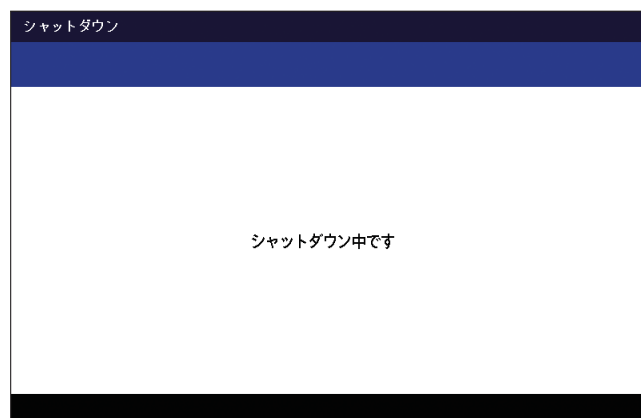
- ・状況確認の印刷ジョブ一覧にジョブがないこと。
- ・データ受信、受信原稿ありおよび回線使用状況確認ランプが点滅していないこと（点滅中にシャットダウンした場合、受信中だったファクスなどは、受信完了していません）。
- ・ネットワークユーザが使用していないこと。

注意

- ・操作パネルの「電源」ボタンを押さず、主電源スイッチを使って電源を切ると、保存しているデータが失われたり、ハードディスクが破損したりすることがあります。
- ・操作パネルの「電源」ボタンを押したときに実行中のジョブがある場合は、「実行中のジョブが削除されます シャットダウンしますか？」と画面に表示されます。[はい]を押すと実行中のジョブは削除され、シャットダウンします。シャットダウンしたくない場合は [いいえ] を押してください。
- ・本機が「スリープモード」に移行している場合、プリントデータやファクスを受信したり、「予約印刷」の設定時刻になると、本機の電源が自動的にオンになります。

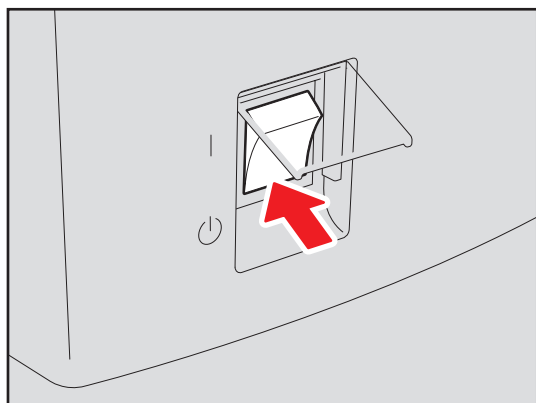


「ピッ」と音がするまで、操作パネルの「電源」ボタンを押し続けます。



「シャットダウン中です」と画面に表示され、しばらくすると電源が切れます。

長い間本機を使用しないなどの場合は「電源」ボタンでシャットダウンし、操作パネルの電源ランプが消えたことを確認した後に、主電源スイッチを切ります。



主電源スイッチを OFF にすると、主電源ランプが消えます。

1

2

3

4

5

使わないときの電力消費を抑える—節電モード—

本機は、低電力モード、スリープモードおよびスーパースリープモードの3つの節電モードを備えています。各モードへの移行手順や復帰の条件は、以下の表のとおりです。

節電モード	移行手順	移行する条件	機体の状態	復帰の条件
低電力モード	一定時間 ^{*1} 経過	—	タッチパネルに「節電しています スタートボタンを押してください」と表示。	[スタート] ボタンなど ^{*4} を押す。プリントデータやファクスなどを受信する。
スリープモード	一定時間 ^{*1} 経過 または [節電] ボタン ^{*6} を押す	特定のオプション ^{*2} が装着されている。または、特定のプロトコル ^{*3} が有効になっている。	タッチパネルの表示が消える。[節電] ボタンが緑色に点灯。	低電力モードと同じ。
スーパースリープモード	一定時間 ^{*1} 経過 または [節電] ボタン ^{*6} を押す または [電源] ボタンを押す ^{*5}	特定のオプション ^{*2} が装着されていない。かつ、特定のプロトコル ^{*3} が無効になっている。	主電源ランプのみが点灯。	[電源] ランプが点灯するまで [電源] ボタンを押し続ける。有線 LAN からのプリントデータ受信、ファクス受信する。予約印刷が設定された時刻になる。

*1 工場出荷時の初期設定では1分です。

*2 対象のオプションは無線 LAN モジュール、Bluetooth モジュール、データ消去オプション、e-BRIDGE ID Gate です。

*3 対象のプロトコルは IPX、AppleTalk などです。また、IPsec 機能 (オプション) が有効な場合もスリープモードに移行します。詳しくは **TopAccess ガイド** をご覧ください。

*4 [スタート] [節電] [コピー] [ファイリングボックス] [スキャン] [プリント] [ファクス] のいずれかのボタンです。

*5 機体の状態によっては、[電源] ボタンを押しても、スーパースリープモードに移行せず、電源がオフになる場合があります。スーパースリープモードに移行する条件については **TopAccess ガイド** をご覧ください。

*6 操作パネルの [節電] ボタンです。

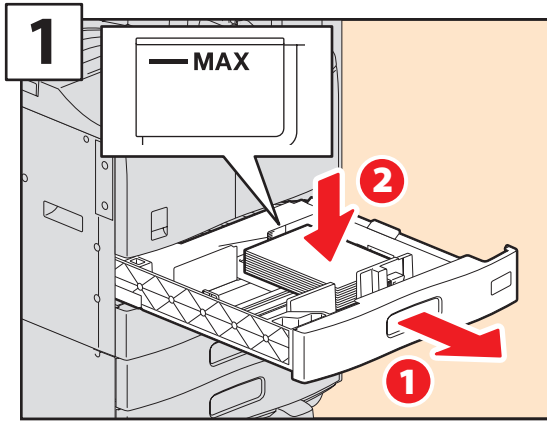


各モードへの移行時間設定の変更については、**設定管理ガイド** をご覧ください。

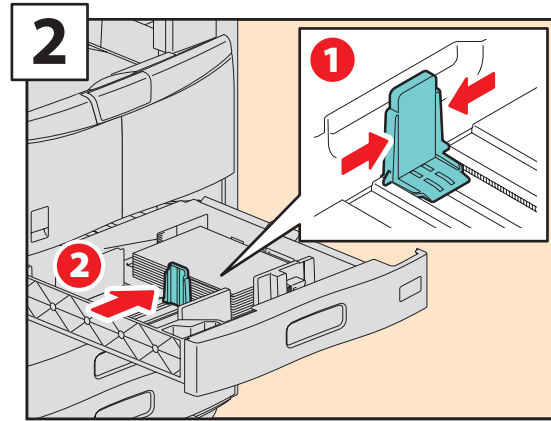
「低電力モード」の移行時間と「スリープモード」または「スーパースリープモード」の設定時間が同じ場合、時間経過後に「スリープモード」または「スーパースリープモード」に移行します。

カセットに用紙をセットする

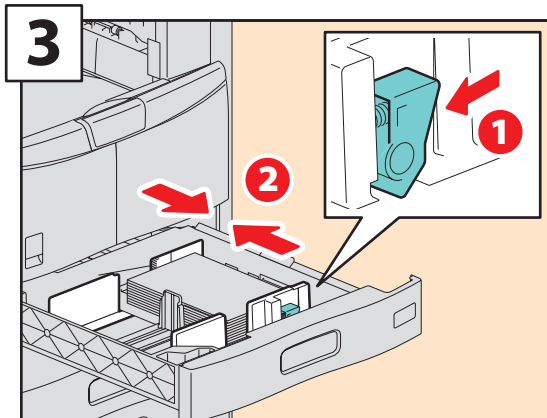
本体の給紙カセットに用紙をセットする方法です。



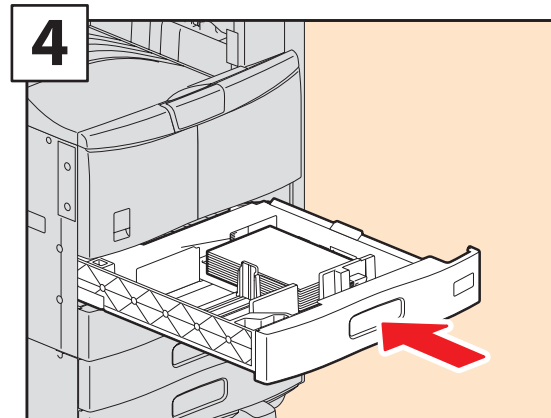
カセットを引き出し、用紙をセットします。



用紙サイズに合わせて後端ガイドをセットします。



用紙の幅に合わせてサイドガイドをセットします。



カセットを押し込みます。

補足

本機で使用できる用紙については、P.74「本機の仕様」をご覧ください。

1

2

3

4

5

第2章

基本的な操作

コピーの基本操作	22
ファクスの基本操作	26
スキャンの基本操作	30
ファイリングボックスの基本操作	32
プリントの基本操作	34
メニューの基本操作	36

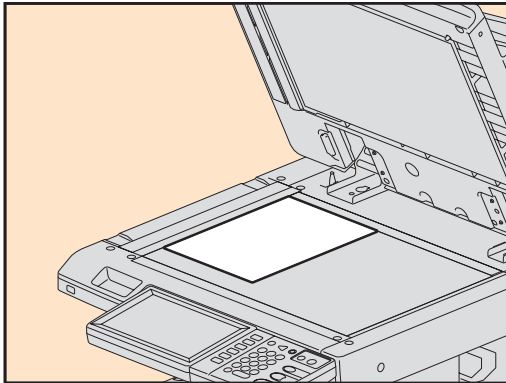
コピーの基本操作

コピーの基本的な操作です。コピー機能を使用するには、操作パネルの「コピー」ボタンを押してください。

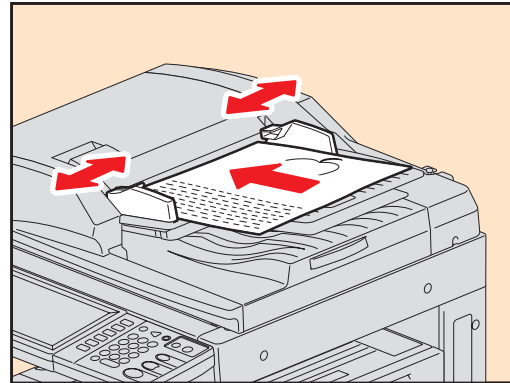
コピーのとりかた

1 原稿をセットします。

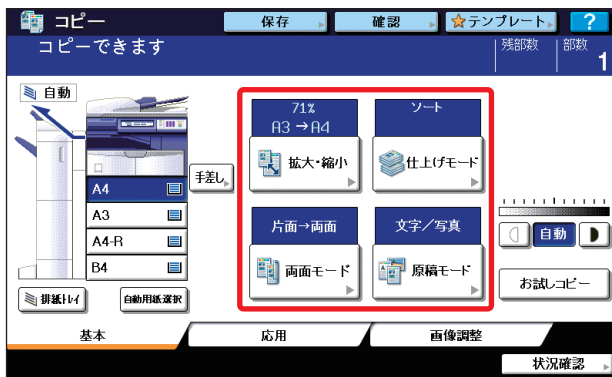
原稿ガラス（原稿面を下向き）



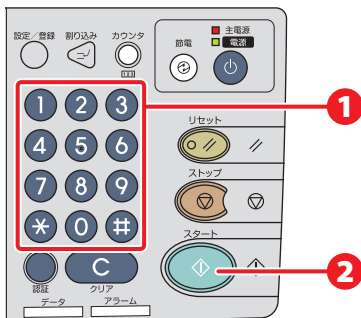
自動両面原稿送り装置（オプション、原稿面を上向き）



2 必要に応じて、モードなどを設定します。



3 ①部数をセットし、②「スタート」ボタンを押すと、コピーが始まります。



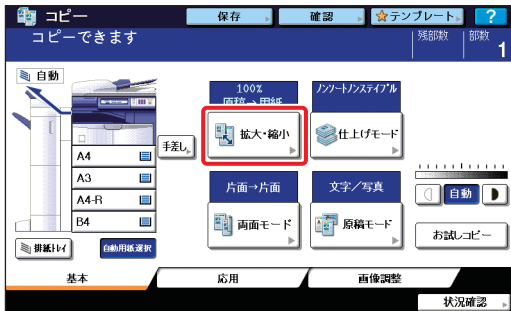
補足

動作中のコピーを停止する場合は、操作パネルの「ストップ」ボタンを押し、タッチパネルの「メモリクリア」を押します。

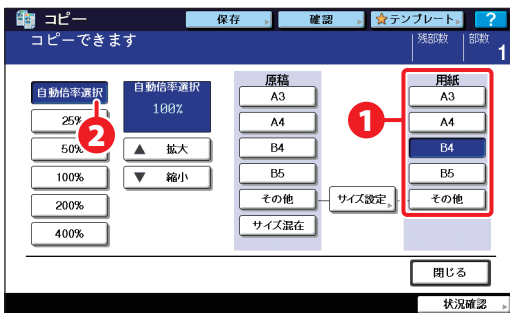
詳細はコピーガイドをご覧ください。

拡大・縮小コピーの設定

1 [拡大・縮小] を押します。



2 ① コピーしたい用紙のサイズを選び、② [自動倍率選択] を押します。

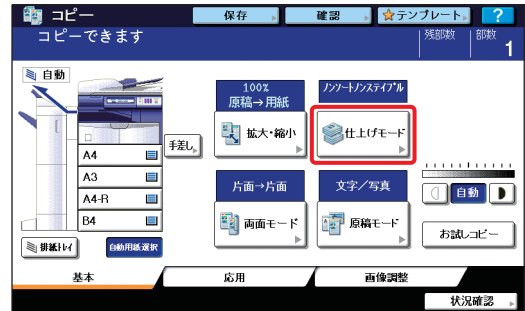


補足

コピーしたい用紙のサイズに合わせて、原稿の向きを合わせてください。[自動倍率選択] を押すと、原稿サイズは本機が自動的に選択します。

仕上げモード（ソート）の設定

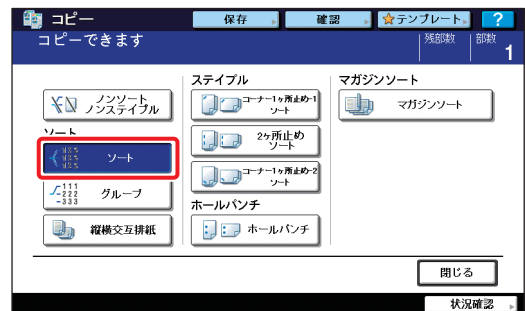
1 [仕上げモード] を押します。



補足

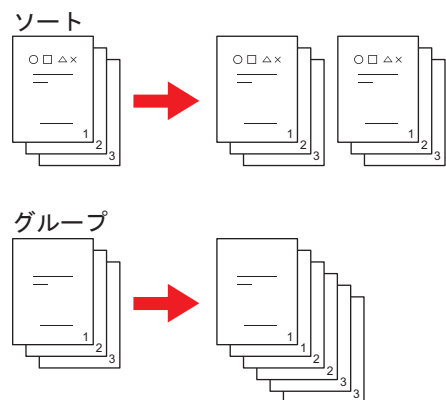
自動両面原稿送り装置を使用する場合は、自動的に「ソート」に設定されます。

2 [ソート] を押します。



補足

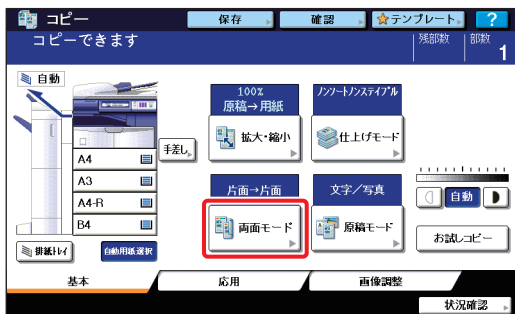
・一部の設定にはオプションが必要です。
 ・たとえば「原稿 1」、「原稿 2」、「原稿 3」を 2 部コピーすると、以下のようになります。



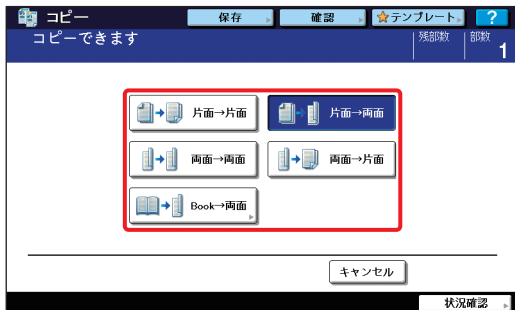
1
2
3
4
5

両面モードの設定

1 [両面モード] を押します。



2 両面モードを選択します。



補足

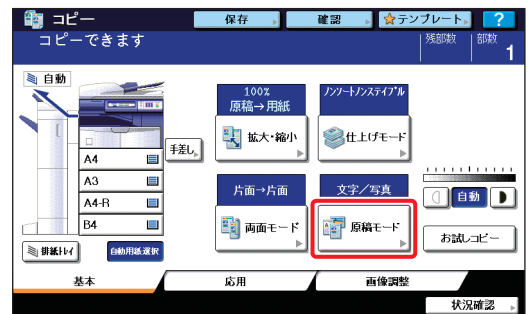
両面モードは5種類から選ぶことができます。たとえば、以下の設定があります。

片面原稿を用紙の両面にコピー： 片面→両面

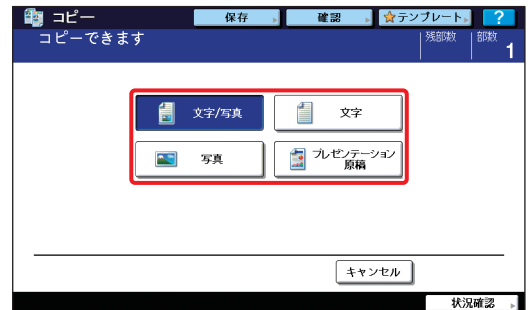
両面原稿を用紙の両面にコピー： 両面→両面

原稿モードの設定

1 [原稿モード] を押します。



2 原稿モードを選択します。



補足

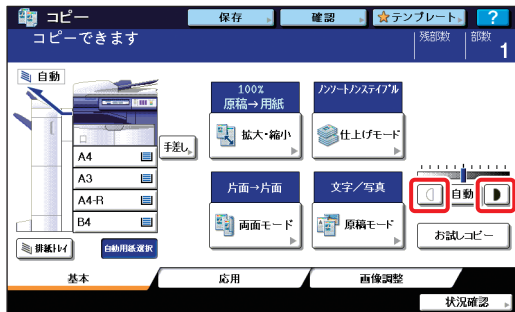
原稿モードは4種類から選ぶことができます。たとえば、以下の設定があります。

文字と写真が混在する原稿： 文字/写真

プレゼンテーション資料などのカラー原稿： プレゼンテーション原稿

濃度を調整するには

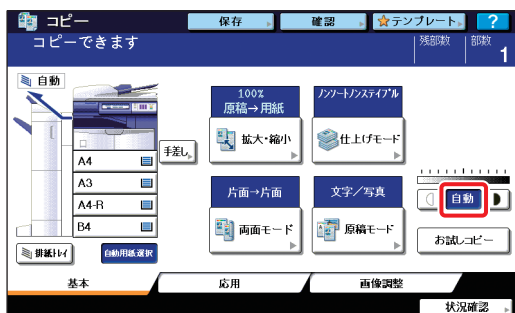
◀ または ▶ を押すと、濃度を手動で調整できます。



補足

濃度を薄くするには ◀ を押します。濃度を濃くするには ▶ を押します。

濃度を自動調整する場合は、[自動] を押します。

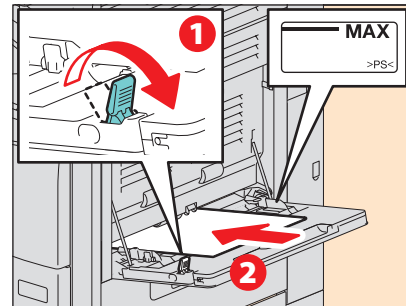


補足

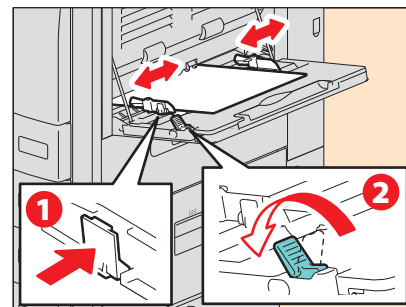
本機の初期設定では、[自動] に設定されています。

手差しコピーするには

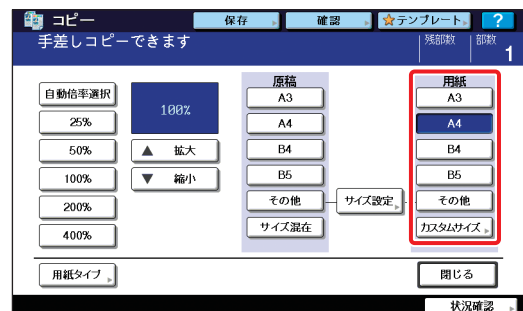
1 ① 用紙押さえレバーを外側に倒し、印刷したい面を下にして、② 手差しトレイに用紙をセットします。



2 ① サイドガイドを用紙の幅に合わせ、② 用紙押さえレバーを本機側に倒します。



3 セットした用紙の大きさを指定します。



補足

厚紙など、普通紙以外の用紙にコピーする場合は、[用紙タイプ] を押して、用紙タイプを設定してください。

4 [スタート] ボタンを押すと、手差しコピーを開始します。

1

2

3

4

5

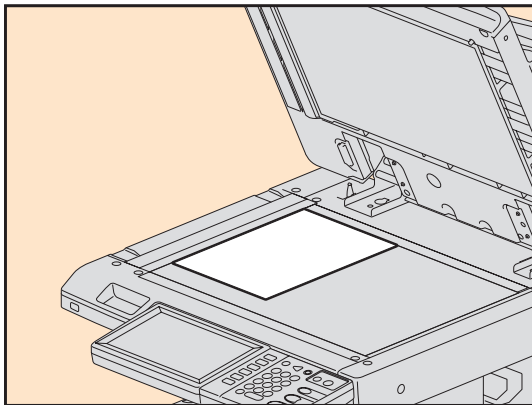
ファクスの基本操作

ファクス（オプション）の基本的な送信方法です。ファクス機能を使用するには、操作パネルの [ファクス] ボタンを押してください。

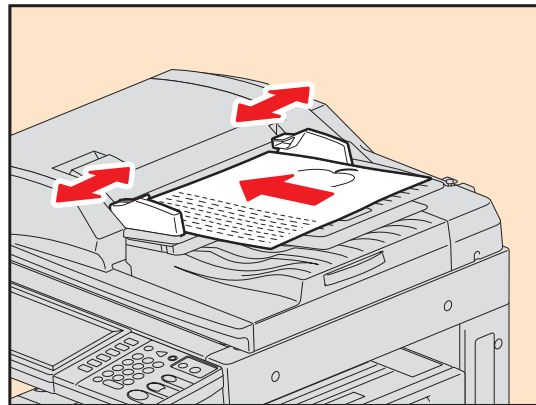
ファクスの送りかた

1 原稿をセットします。

原稿ガラス（原稿面を下向き）



自動両面原稿送り装置（オプション、原稿面を上向き）



2 テンキーで宛先を指定します。



補足

宛先のファクス番号を間違えたときは、操作パネルの [クリア] ボタンを押すと、入力したファクス番号をすべて削除できます。ファクス番号を1字ずつ削除する場合は、タッチパネルの [バックスペース] を押してください。

3 [送信] を押すと、ファクスが送信されます。



補足

タッチパネルの [送信] の代わりに、操作パネルの [スタート] ボタンを押しても、ファクスを送信できます。

詳細は GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAX ユニット 取扱説明書をご覧ください。

アドレス帳からの宛先指定

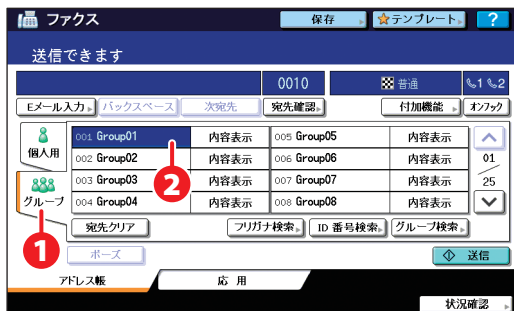
個別の宛先を指定する場合

- 1 [個人用] タブを押し、
- 2 宛先のファクスアイコンを押します。



グループを指定する場合

- 1 [グループ] タブを押し、
- 2 宛先のグループ名を押します。



補足

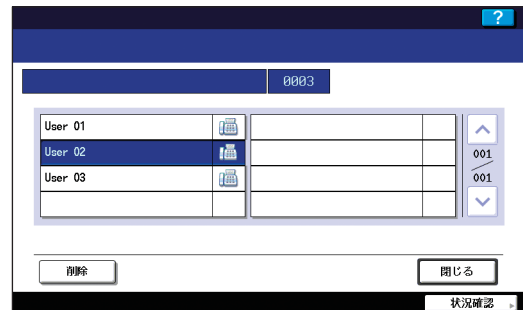
指定した宛先をもう一度押すと、宛先から削除できます。

指定した宛先を確認するには

- 1 [宛先確認] を押します。



- 2 宛先の一覧が表示されます。



補足

不要な宛先を削除する場合は、宛先を選択した後に [削除] を押します。

1

2

3

4

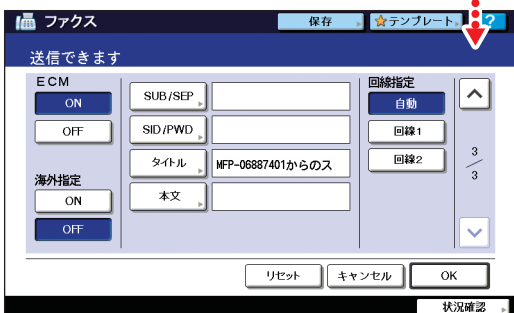
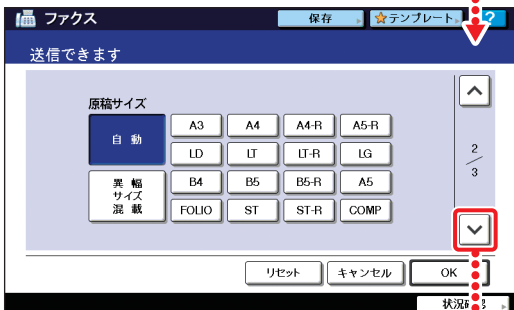
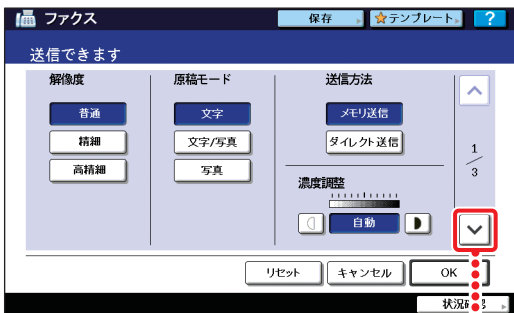
5

送信条件の設定

- 1 【付加機能】 を押します。



- 2 送信条件の設定画面が表示されます。
 ▲ または ▼ を押すと、ページが切り替わります。



補足

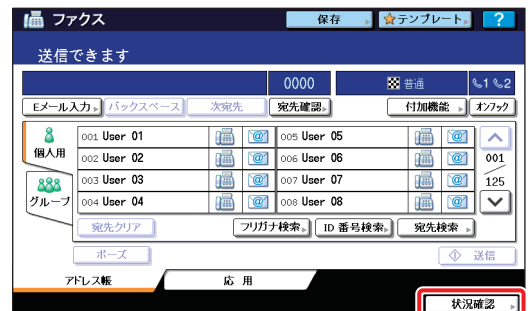
解像度：送信画像のきめ細かさを設定します。

原稿サイズ：原稿の読み取りサイズを指定します。

- 3 設定が終わりましたら、【OK】 を押します。

送信予約を取り消すには

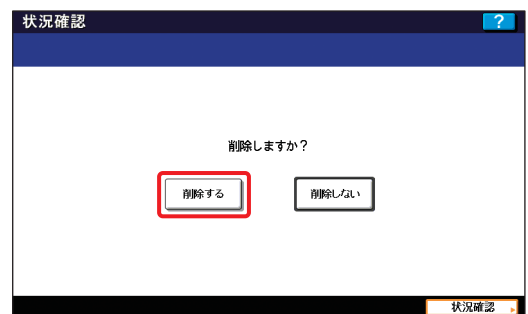
- 1 【状況確認】 を押します。



- 2 ① 【ファクス】 を押し、② 削除したい予約を選択して、③ 【削除】 を押します。



- 3 確認画面で【削除する】 を押すと、送信予約が取り消されます。



送信結果を確認するには

- 1 [状況確認] を押します。



- 2 ① [ログ] タブを押して、② [送信] を押します。



補足

[受信] を押すと、受信履歴を確認できます。

- 3 送信結果の一覧が表示されます。「結果」に「OK」と表示されていれば、送信が完了しています。

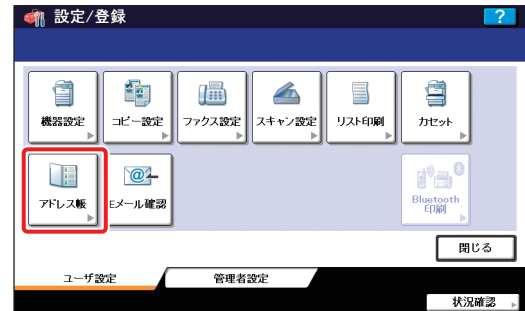


補足

一覧の宛先を選んで [アドレス帳登録] を押すと、アドレス帳に登録することができます。

アドレスを登録するには

- 1 操作パネルの [設定 / 登録] ボタンを押し、タッチパネルの [アドレス帳] を押します。



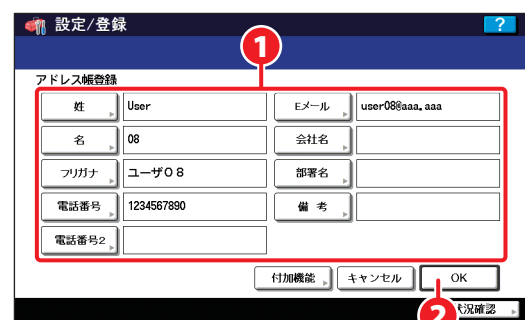
- 2 [アドレス帳] を押します。



- 3 ① 連絡先を登録する空きボタンを押して、② [登録] を押します。



- 4 ① タッチパネルのボタンを押して宛先情報を入力し、② [OK] を押して登録します。



1
2
3
4
5

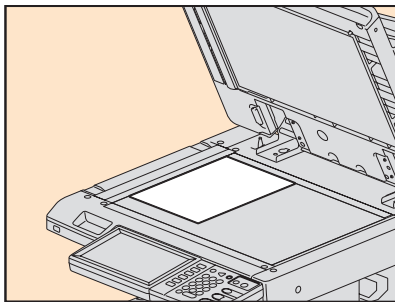
スキャンの基本操作

スキャン（オプション）の基本的な操作です。スキャン機能を使用するには、操作パネルの「スキャン」ボタンを押してください。

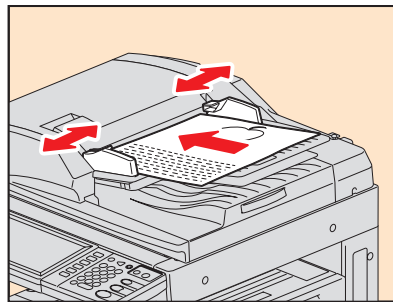
スキャンデータを共有フォルダに保存するには

1 原稿をセットします。

原稿ガラス（原稿面を下向き）



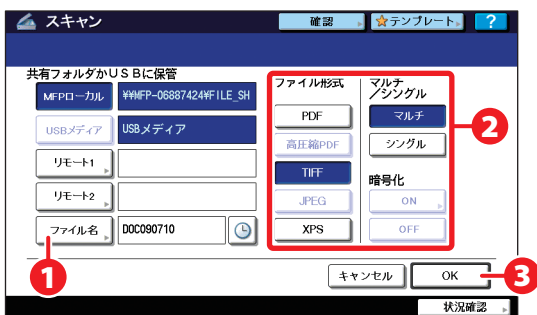
自動両面原稿送り装置（オプション、原稿面を上向き）



2 「共有フォルダか USB に保管」を押します。



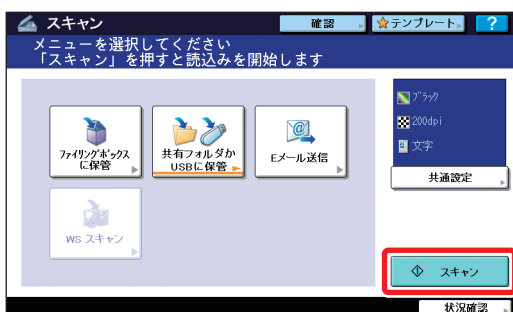
3 ① ファイル名や ② ファイル形式などを設定し、③ [OK] を押します。



補足

本機前面の USB ポートに USB メディアを接続すると、スキャンデータを USB メディアに保存できます。

4 「スキャン」を押すと、スキャンが始まります。

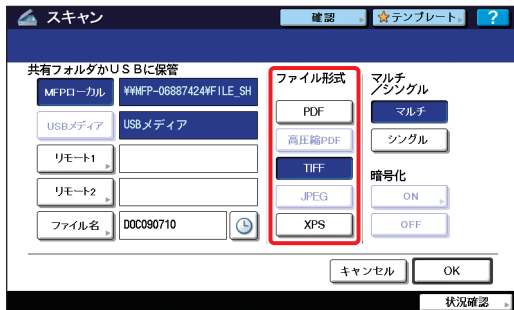


詳細はスキャンガイドをご覧ください。

ファイルの設定

ファイル形式

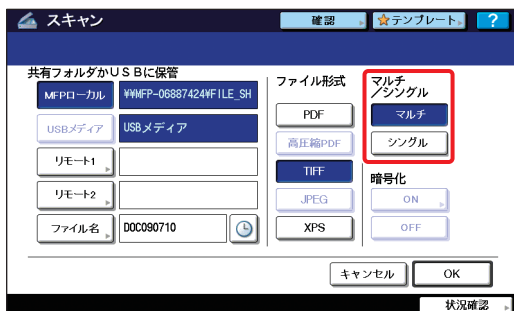
PDF や TIFF など、保存するファイルの形式を指定できます。



マルチ / シングル

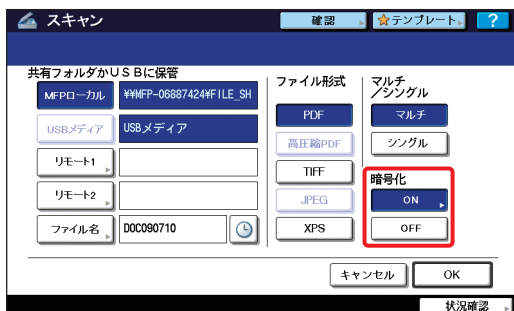
「マルチ」は複数のページを1つのファイルとして保存します。

「シングル」は1ページを1つのファイルとして保存します。



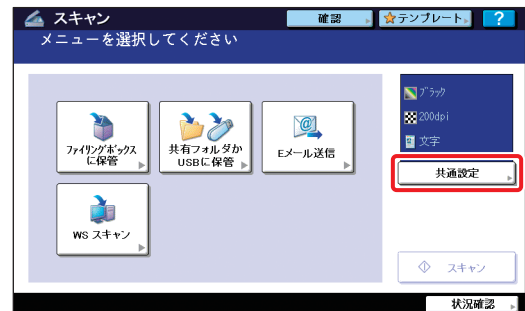
暗号化

「ファイル形式」で PDF を指定したときに、ファイルを暗号化するかどうかを選択できます。

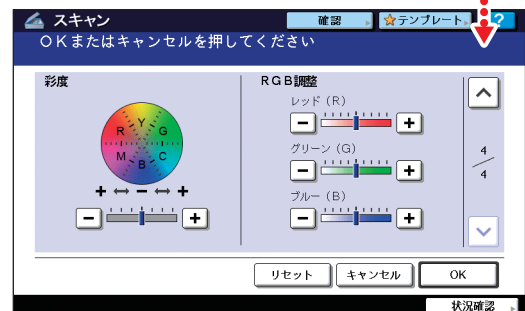
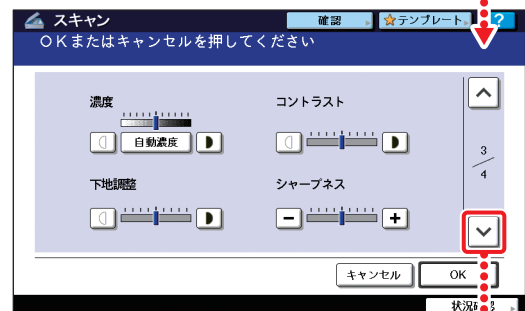
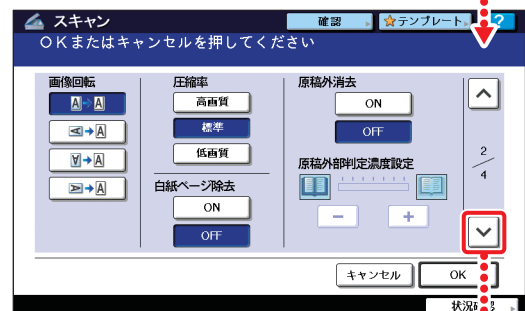
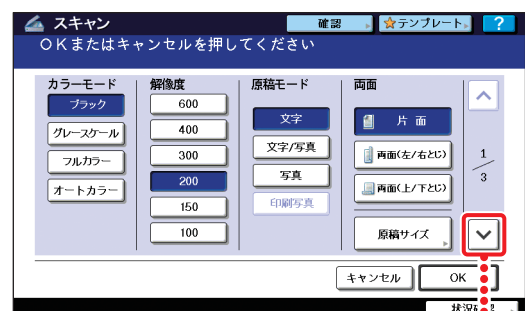


共通設定を変更するには

1 [共通設定] を押します。



2 ^ または v を押すと、ページが切り替わります。



3 設定が終わりでしたら、[OK] を押します。

1
2
3
4
5

ファイリングボックスの基本操作

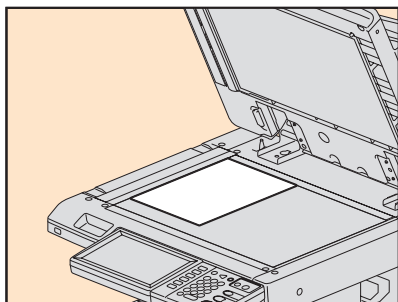
ファイリングボックスの基本的な操作です。ファイリングボックス機能を使用するには、操作パネルの [ファイリングボックス] ボタンを押してください。

文書を保存する

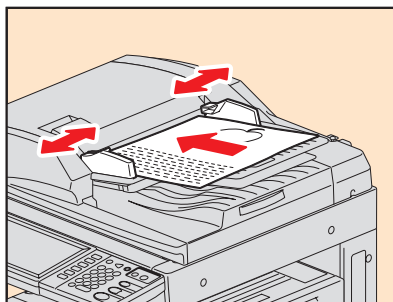
コピーと同時に、原稿をファイリングボックス文書として本機に保存する方法です。

1 原稿をセットします。

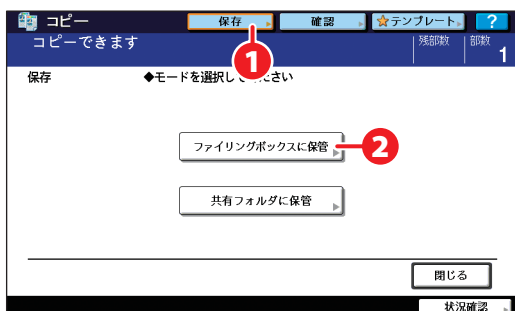
原稿ガラス（原稿面を下向き）



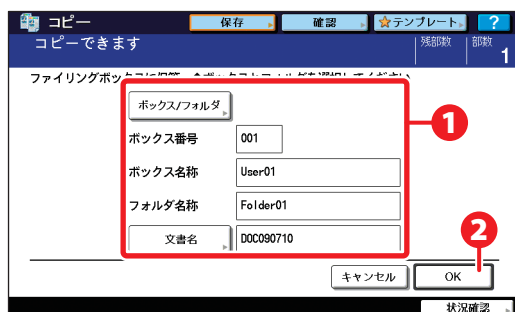
自動両面原稿送り装置（オプション、原稿面を上向き）



2 ① コピーの基本画面で [保存] を押し、② [ファイリングボックスに保管] を押します。



3 ① 文書を保存するボックスや文書名を指定し、② [OK] を押します。



補足

画面に「原稿をコピーしますか？」と表示されたら、[はい] を押すと、コピーと同時に文書を保存します。

4 [スタート] ボタンを押して、文書を保存します。

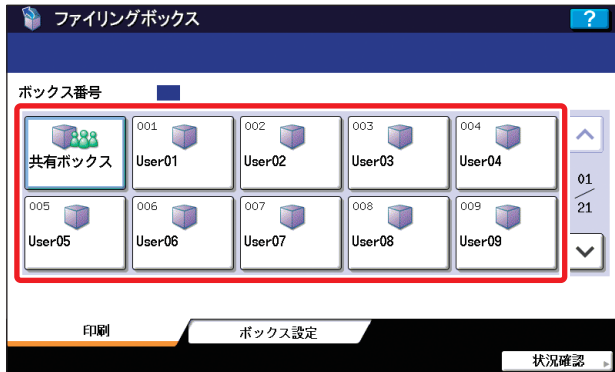
補足

文書の保存はコピー操作のほか、スキャン操作とプリンタドライバから行うこともできます。詳細は **スキャンガイド** または **印刷ガイド** をご覧ください。

文書を印刷する

ファイリングボックスに保存した文書を印刷する方法です。

- 1 文書が保存されているボックスボタンを押します。



- 2 ① 印刷したい文書を選択し、② [印刷] を押して、文書を印刷します。



補足

削除

文書を選択して [削除] を押すと、文書を削除できます。

印刷設定

文書を用紙の両面に印刷したり、文書にページ番号を追加して印刷するなど、印刷の設定を変更することができます。

テスト印刷

文書を試しに 1 部印刷します。ページ数を指定し、文書の一部だけを印刷することもできます。

詳細はファイリングボックスガイドをご覧ください。

1

2

3

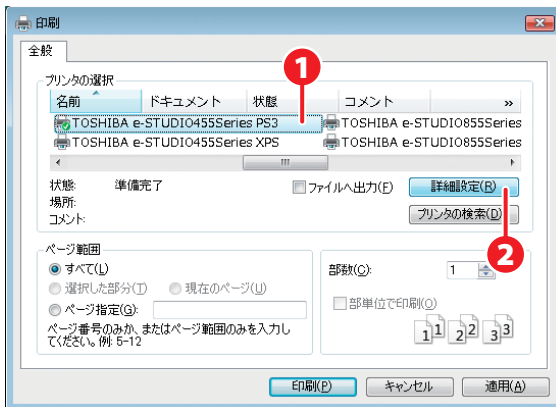
4

5

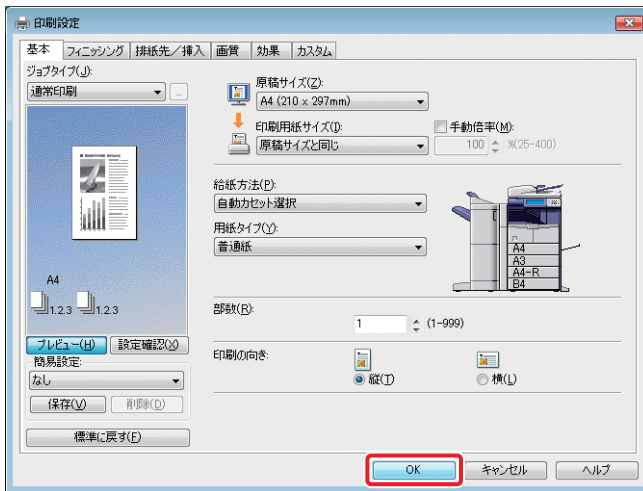
プリントの基本操作

プリント（オプション）の基本的な操作で、Windows アプリケーションから PS3 プリンタドライバで印刷する方法です。

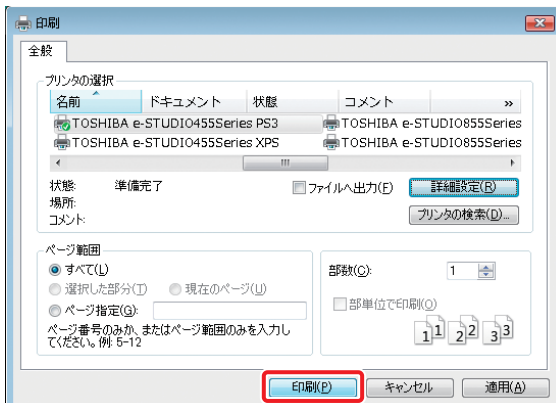
- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【印刷】を選択します。
- 2 ① 本機のプリンタドライバを選択し、② 【詳細設定】をクリックします。



- 3 印刷機能を設定し、【OK】をクリックします。

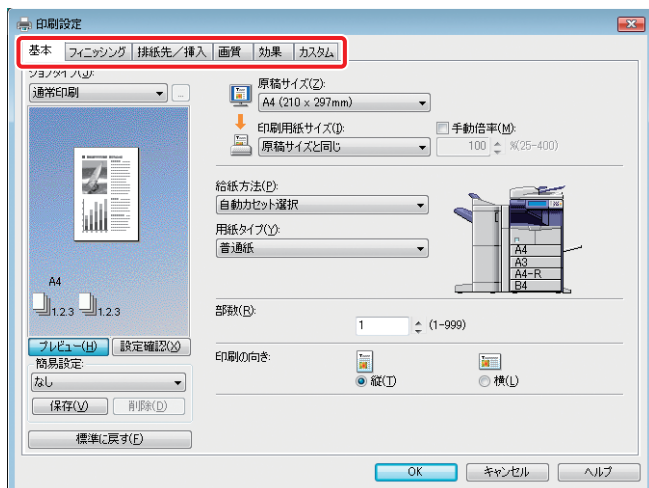


- 4 【印刷】をクリックして、文書を印刷します。



詳細は印刷ガイドをご覧ください。

PS3 プリンタドライバの設定



用紙サイズや印刷部数を指定するには

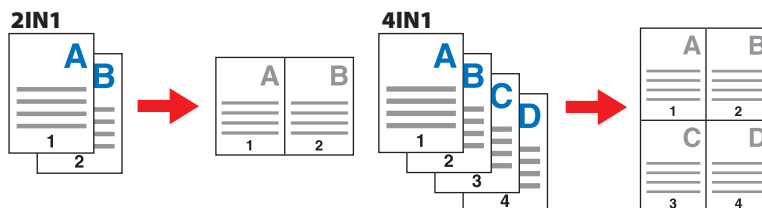
プリンタドライバのプロパティダイアログボックスで [基本] タブをクリックします。

両面印刷や N in 1 印刷を指定するには

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスで [フィニッシング] タブをクリックします。オプションのフィニッシャを接続すると、「ステイプル」や「ホールパンチ」も指定できます。

補足

「N in 1」を指定すると、複数のページを1枚の用紙にまとめて印刷することができます。印刷イメージは指定した用紙サイズに収まるように、自動的に縮小して印刷します。



排紙先の指定や表紙の挿入を行うには

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスで [排紙先/挿入] タブをクリックします。

画質を調整するには

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスで [画質] タブをクリックします。

用紙の背景に文字列やグラフィックスを入れて印刷するには

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスで [効果] タブをクリックします。

白紙ページを印刷しないように指定するには

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスで [カスタム] タブをクリックします。

1

2

3

4

5

メニューの基本操作

操作パネルの [メニュー] ボタンを押すと、テンプレートを表示します。

部門管理機能とユーザ管理を有効にしている場合、本機にログインして操作パネルの [メニュー] ボタンを押すと、直前にメニュー画面で使用したテンプレートグループが表示されます。テンプレートの詳細は**コピーガイド**および**TopAccessガイド**をご覧ください。

- ・表示されるのは、ログインしたユーザが最後に使ったテンプレートグループの1枚目の画面です。
- ・ユーザに応じたテンプレートやカウンタ情報を表示させるためには、部門管理とユーザ管理を行う必要があります。



1. ユーザ名表示エリア

ログイン中のユーザ名が表示されます。

2. テンプレート表示エリア

ログイン中のユーザが使用できるテンプレートが表示されます。

3. トータルプリントカウンタ

ログイン中のユーザのトータルプリントカウンタが表示されます。

4. [グループ選択] ボタン

テンプレートのグループを変更します。

5. [EXTENSION] ボタン

外部連携オプション (GS-1020) を使用すると有効になります。詳しくはサービスエンジニア、または弊社販売店にお問い合わせください。

注意

部門管理機能とユーザ管理機能を使用していない場合は、共有グループのテンプレートと機体のトータルプリントカウンタが表示されます。

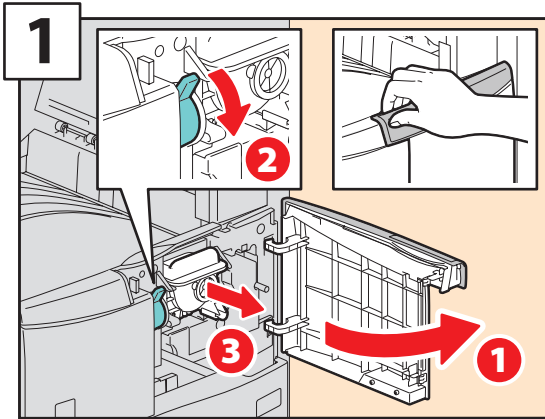
第3章

消耗品の交換／ 困ったときは

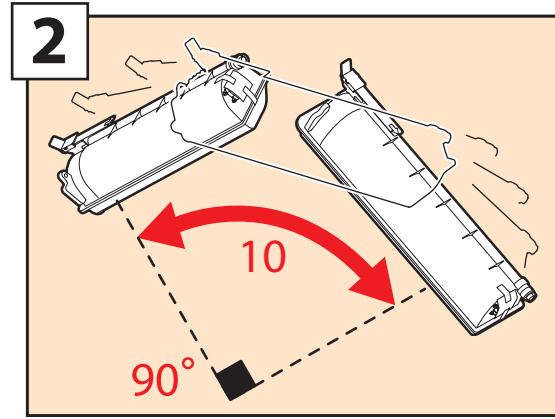
トナーカートリッジの交換	38
ステイプル針の補充	39
日常のお手入れ	45
保守サービスについて	47
困ったときは	48

トナーカートリッジの交換

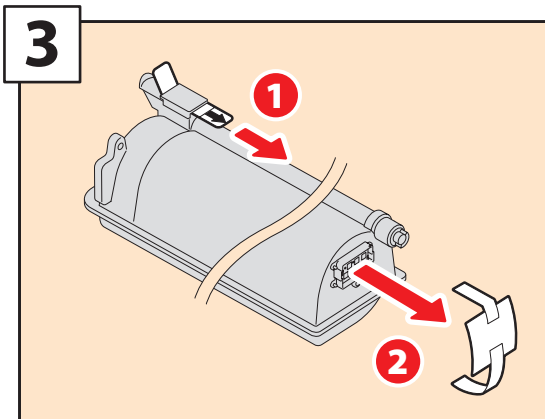
トナーカートリッジを交換する方法です。



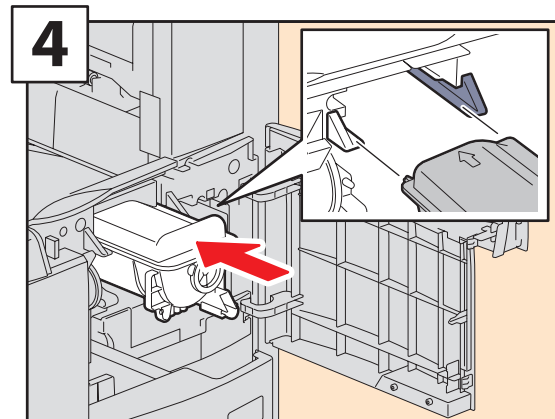
前面カバーを開け、レバーを押し下げ、トナーカートリッジを取り外します。



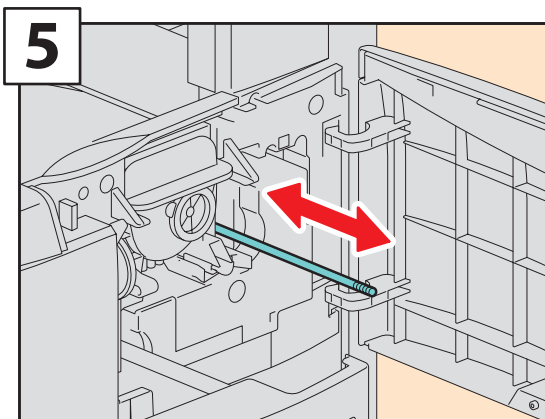
新しいトナーカートリッジをよく振り、トナーをほぐします。



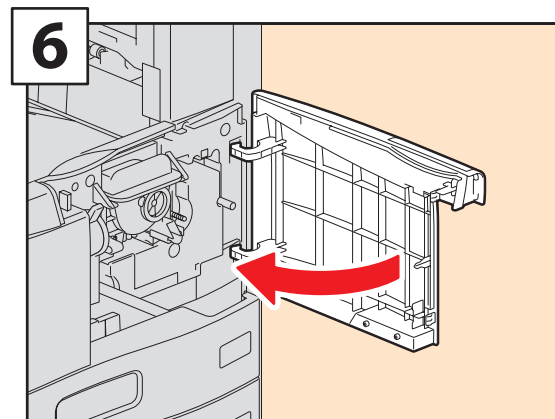
シールを引き抜き、基板上のシールをはがします。



新しいトナーカートリッジを取り付けます。



チャージャをクリーニングします。



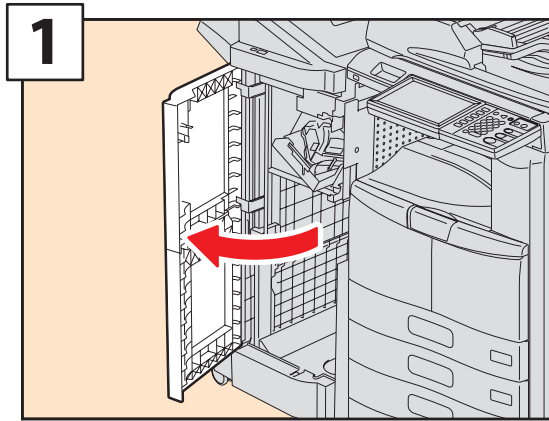
前面カバーを閉めます。

詳細はトラブルシューティングガイドをご覧ください。

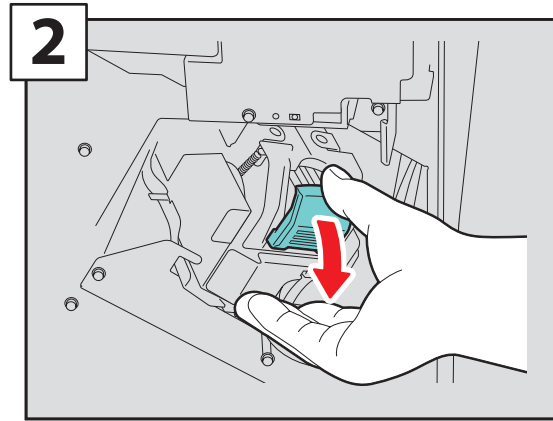
ステイプル針の補充

フィニッシャ（オプション）のステイプル針を補充する方法です。

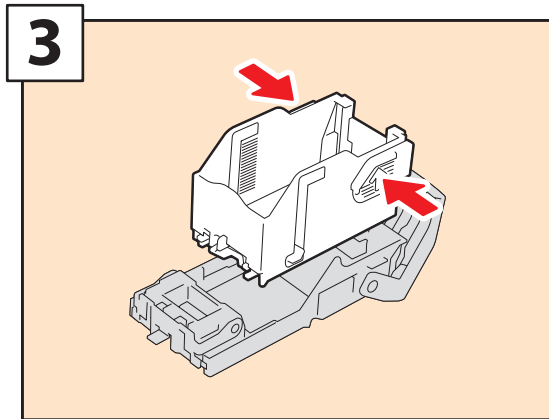
フィニッシャ（オプション：MJ-1101）



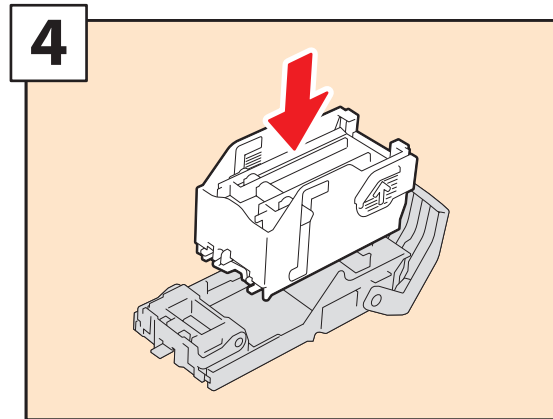
1 フィニッシャの前面カバーを開けます。



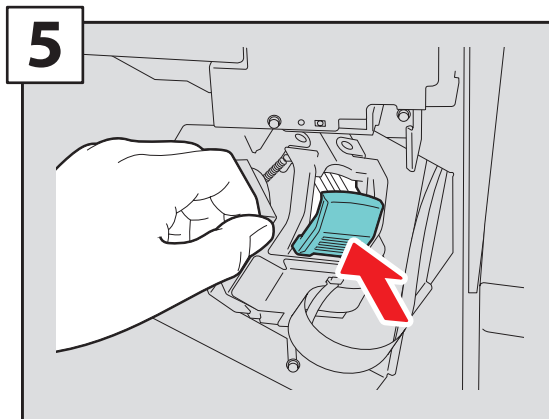
2 ステイプルカートリッジを取り外します。



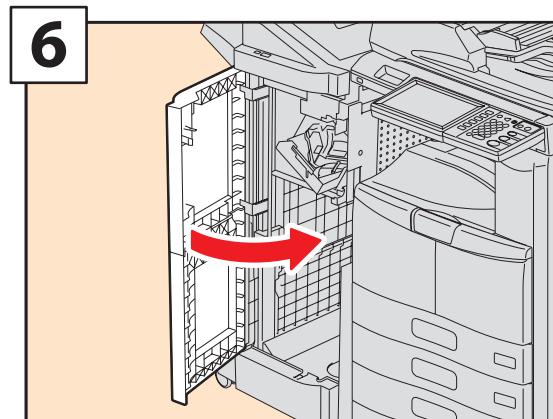
3 空の針ケースを取り外します。



4 新しい針ケースを取り付けます。



5 ステイプルカートリッジを取り付けます。



6 フィニッシャの前面カバーを閉めます。

1

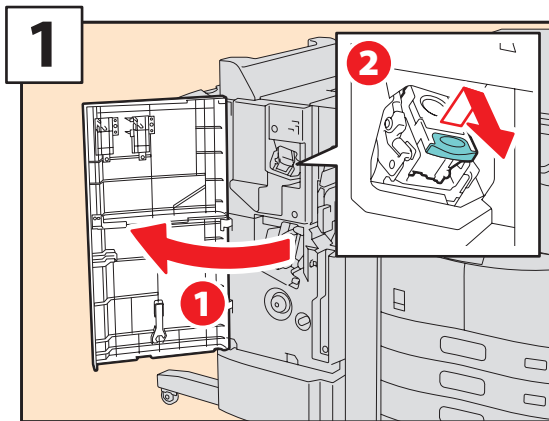
2

3

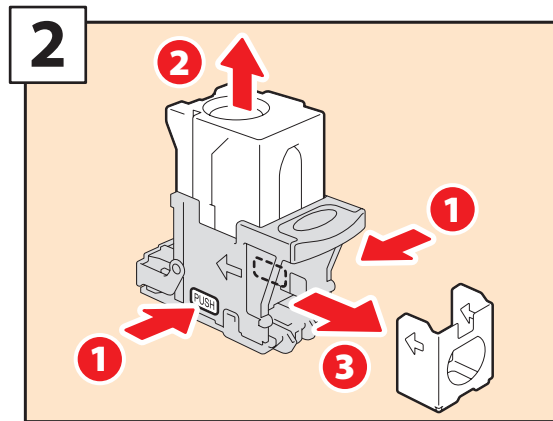
4

5

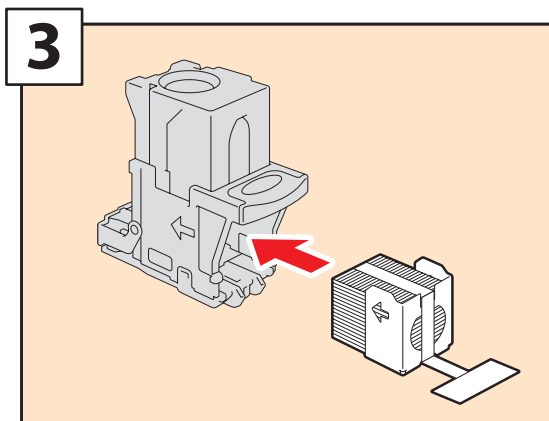
サドルステッチフィニッシャ (オプション：MJ-1024)



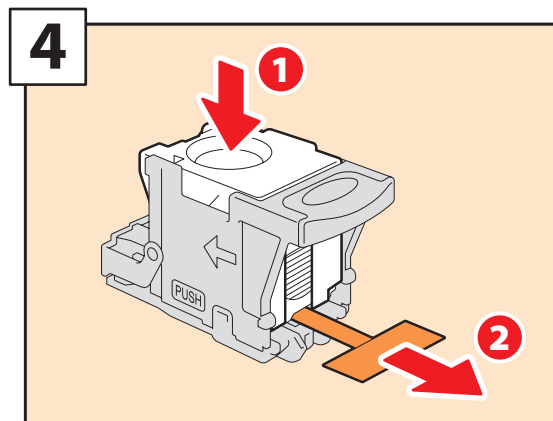
フィニッシャの前面カバーを開け、ステイプルカートリッジを取り外します。



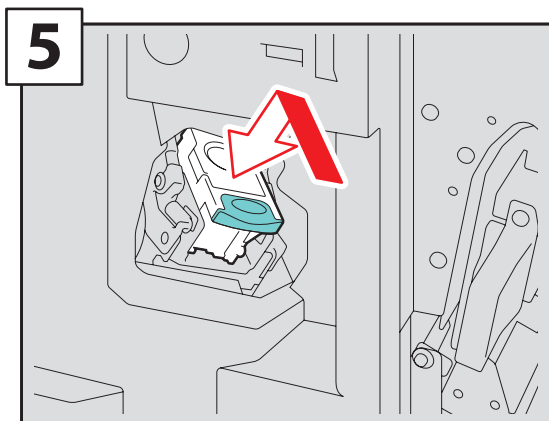
カートリッジ両側のボタンを押し、空の針ケースを取り外します。



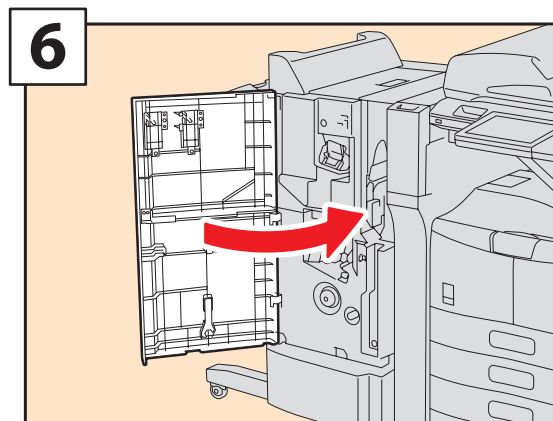
新しい針ケースを取り付けます。



クリアケースを押し下げ、シールを引き抜きます。

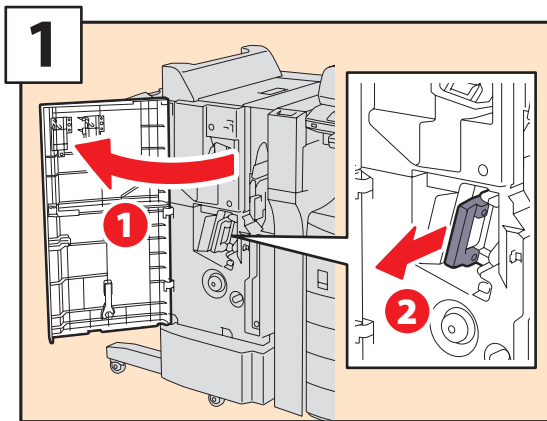


ステイプルカートリッジを取り付けます。

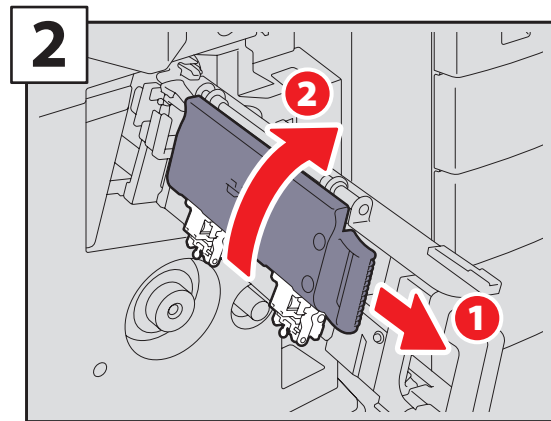


フィニッシャの前面カバーを閉めます。

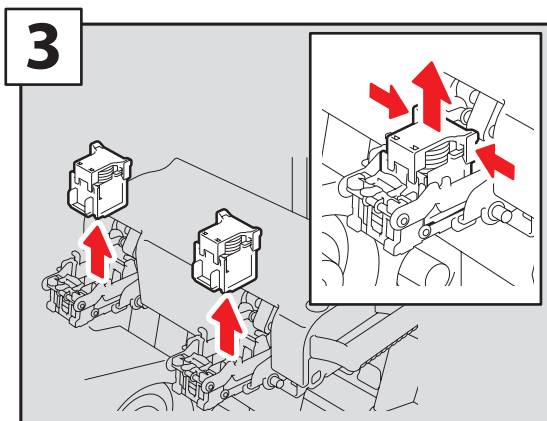
サドルステッチユニット



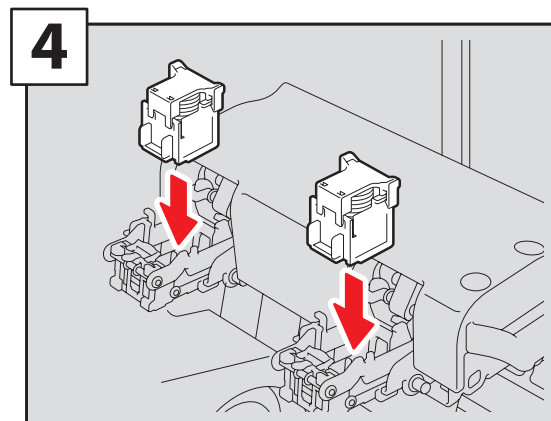
フィニッシャの前面カバーを開け、サドルステッチユニットを引き出します。



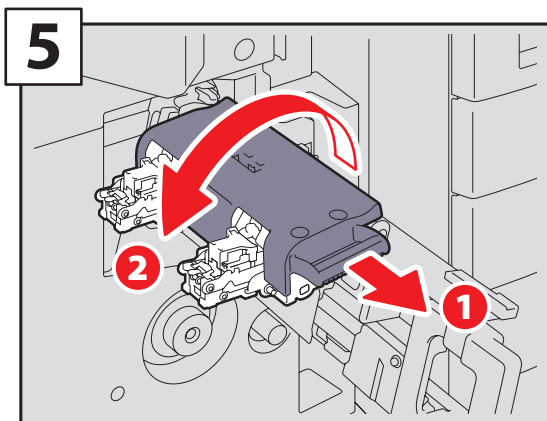
ステイブラの取っ手を手前に引き、時計回りに回します。



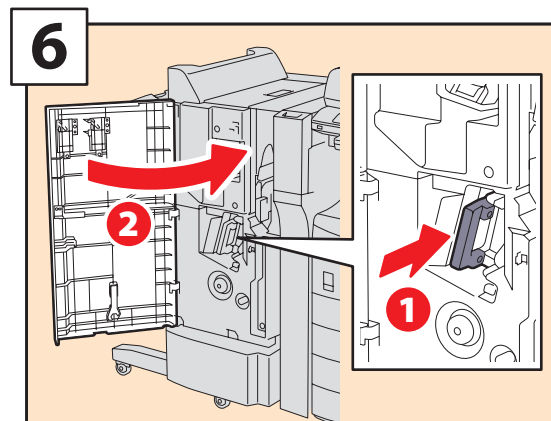
空のステイプルカートリッジ (2つ) を取り外します。



新しいステイプルカートリッジ (2つ) を取り付けます。



ステイブラの取っ手を手前に引き、元の位置に下ろします。



サドルステッチユニットを入れ、フィニッシャの前面カバーを閉めます。

1

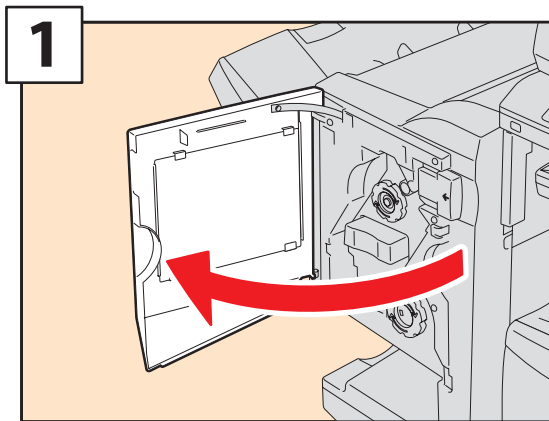
2

3

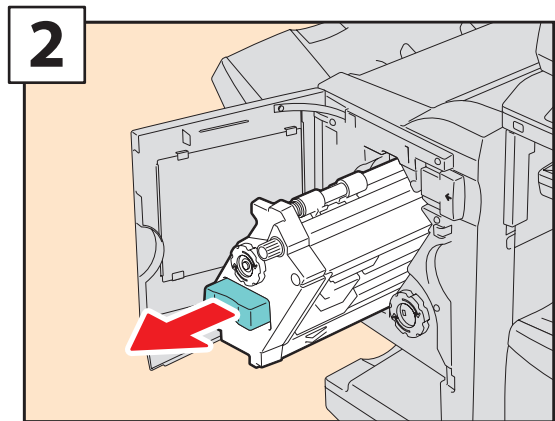
4

5

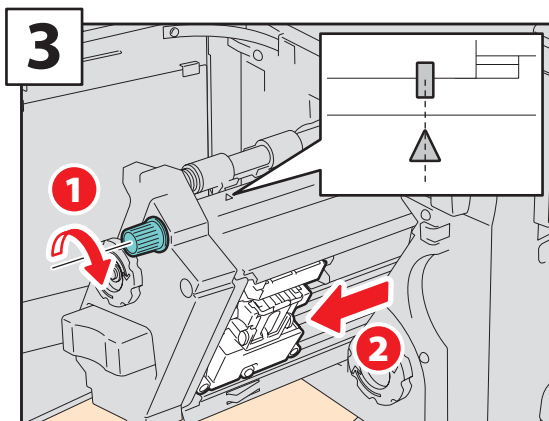
サドルステッチフィニッシャ (オプション：MJ-1025)



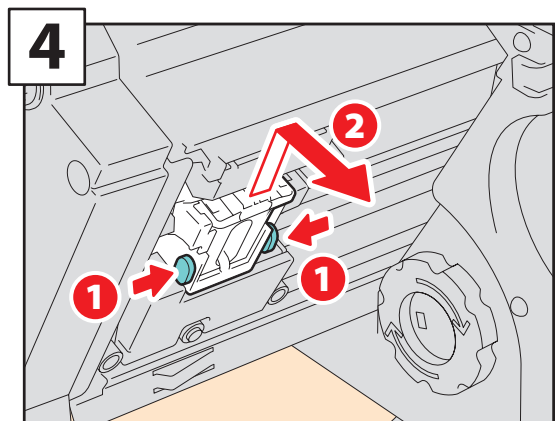
フィニッシャの前面カバーを開けます。



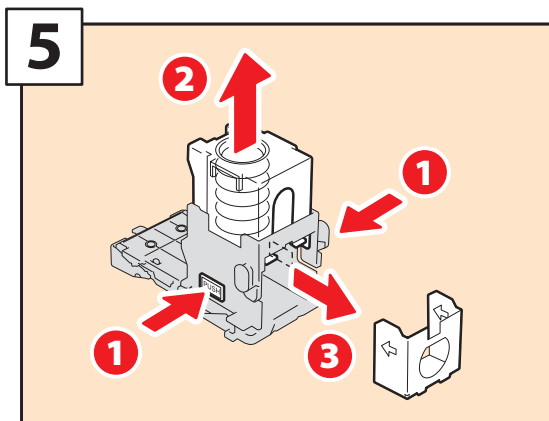
ステイプルユニットを引き出します。



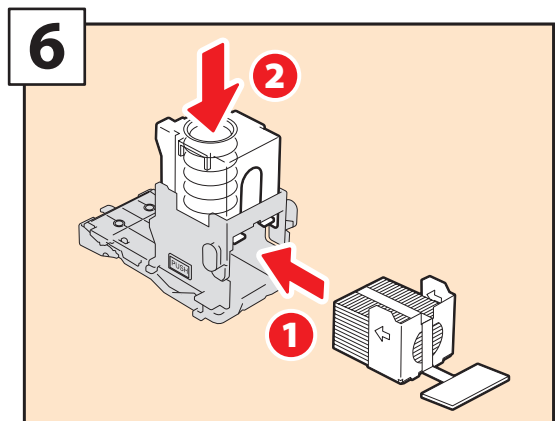
ノブを回して目印の位置に合わせ、ステイプルを手前に移動します。



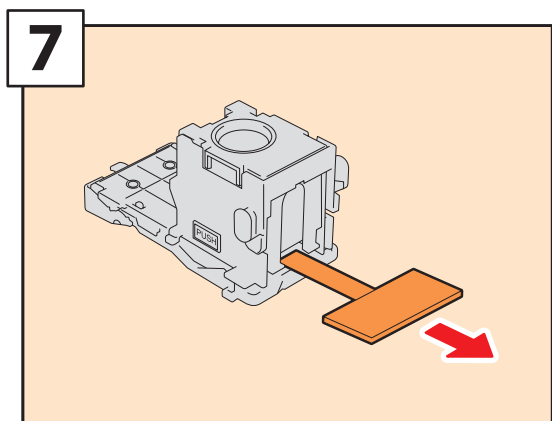
ステイプルカートリッジを取り外します。



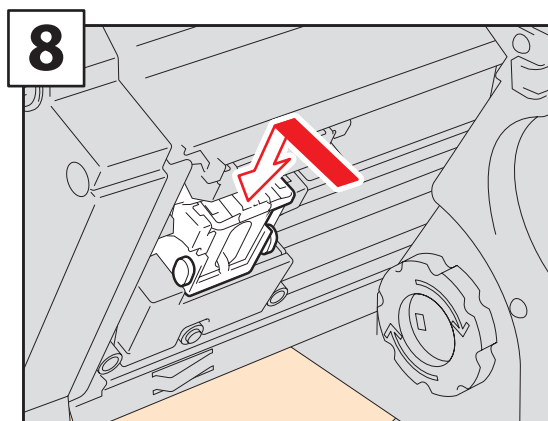
カートリッジ両側のボタンを押し、空の針ケースを取り外します。



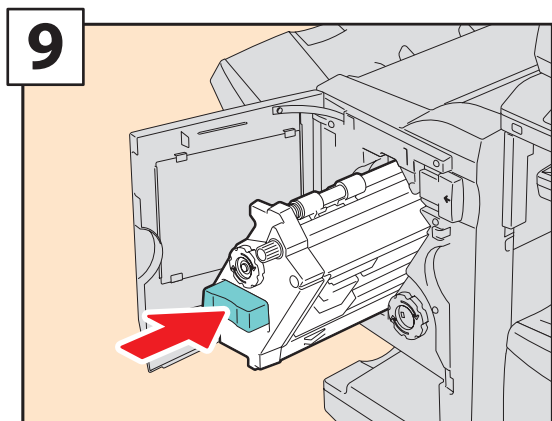
新しい針ケースを取り付け、クリアケースを押し下げます。



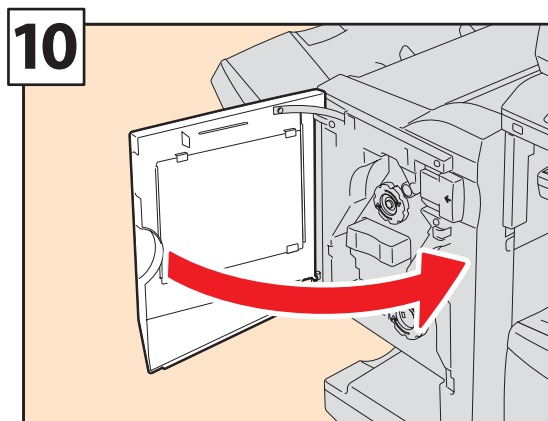
シールを引き抜きます。



ステイプルカートリッジを取り付けます。



ステイプルユニットを元の位置に戻します。



フィニッシャの前面カバーを閉めます。

1

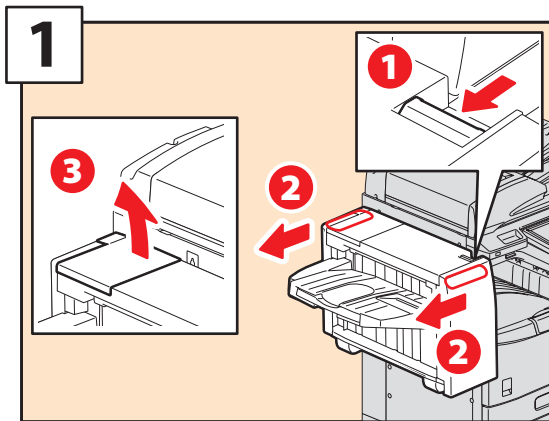
2

3

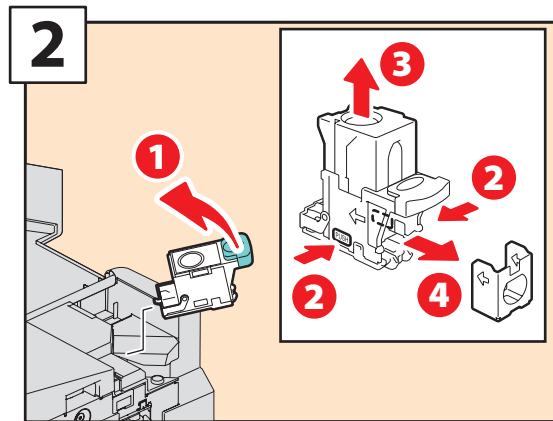
4

5

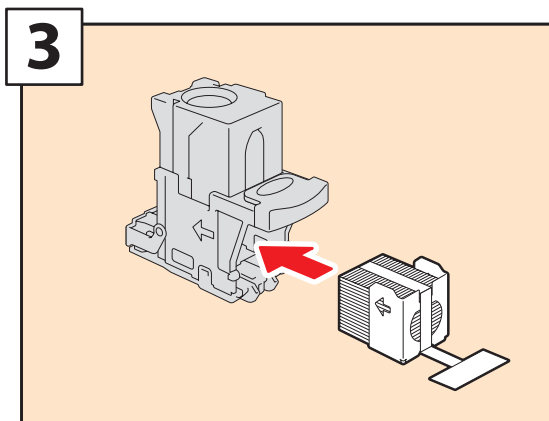
ハンギングフィニッシャ (オプション：MJ-1031)



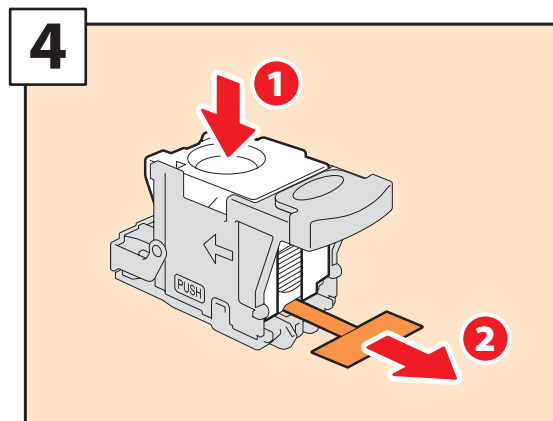
レバーを押し、フィニッシャを機体から離して、カバーを開けます。



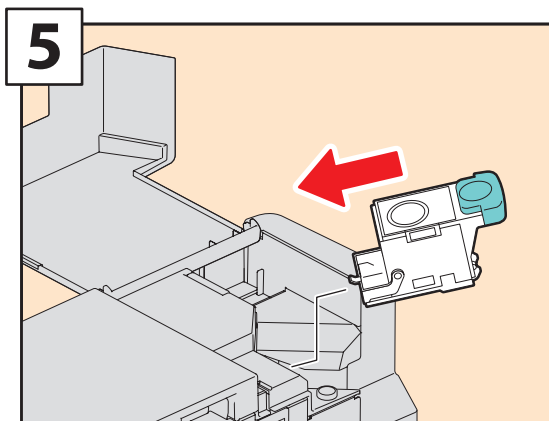
ステイプルカートリッジを取り外し、空の針ケースを取り出します。



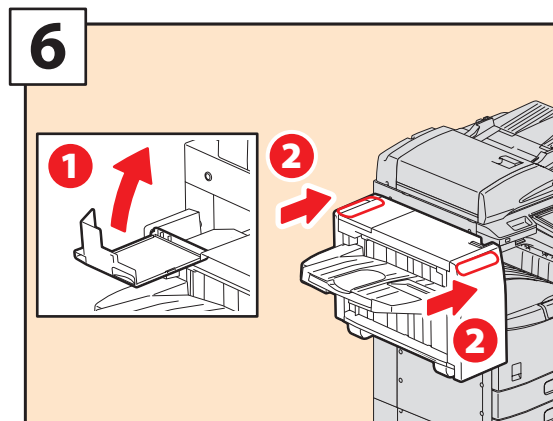
ステイプルカートリッジに新しい針ケースを取り付けます。



クリアケースを押し下げ、シールを引き抜きます。



ステイプルカートリッジを取り付けます。



フィニッシャのカバーを閉め、機体に接続します。

詳細はトラブルシューティングガイドをご覧ください。

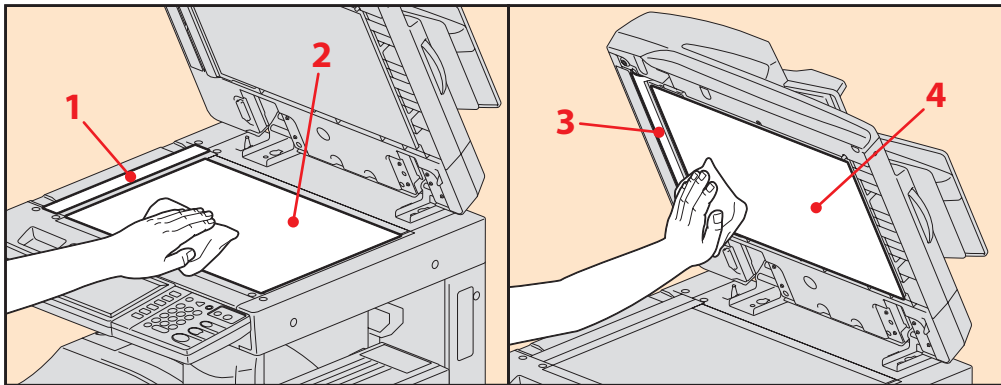
日常のお手入れ

本機のお手入れ方法です。

常にゴミや汚れのない状態で原稿を読み取るために、1週間に1回程度、以下の部分をクリーニングするようお勧めします。

注意

- ・クリーニングする場所を傷つけないようご注意ください。
- ・機械を拭くときは、シンナー、ベンジンなどを使わないでください。変形や変色の原因となります。
- ・化学ぞうきんを使う場合は、その注意書きに従ってください。



1. 原稿読み取り部（細長いガラスの表面）

乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちない場合は、水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭いてください。アルコール、溶剤等は使用しないでください。

2. 原稿ガラス

3. ガイド部

4. 原稿押さえ

汚れの程度により、以下の方法でクリーニングしてください。

- 乾いた柔らかい布で拭く。
- 水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭く。
- アルコールを含ませて固く絞った柔らかい布で拭いた後、から拭きする。
- 薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った柔らかい布で拭いた後、水拭きしてから、から拭きする。

1

2

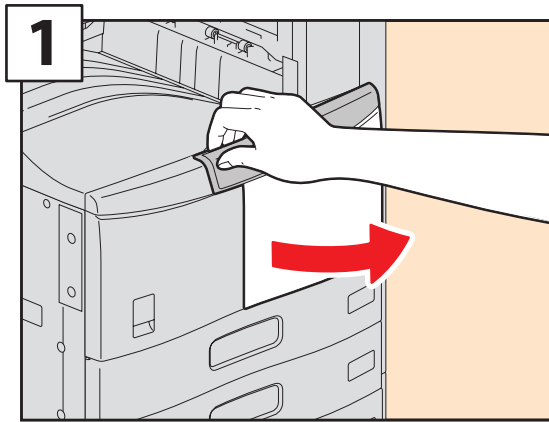
3

4

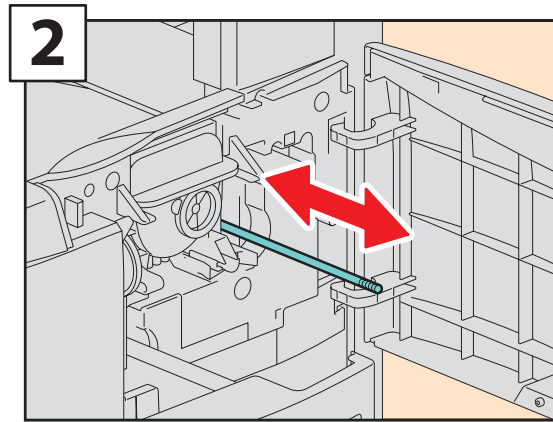
5

チャージャのクリーニング

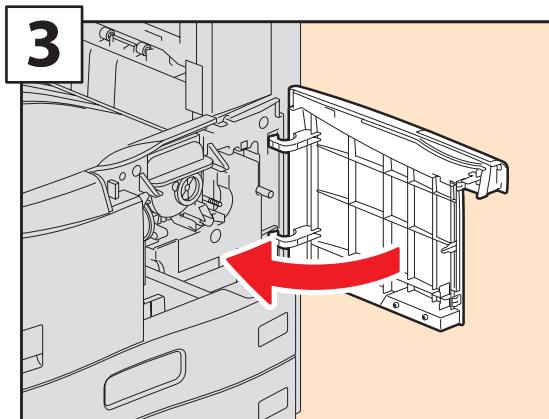
チャージャの内側が汚れると印刷された用紙が汚れます。以下の手順に従ってチャージャをクリーニングしてください。



1 前面カバーを開けます。



2 チャージャのクリーニング用つまみを持ち、静かに止まるまで引き出して、静かに元の位置までまっすぐ戻します。この操作を2、3回繰り返します。



3 前面カバーを閉めます。

注意

クリーニング終了後、チャージャのクリーニング用つまみが奥まで押し込まれていることを確認してください。

保守サービスについて

本機の保守サービスについて説明しています。

本機を安定した状態でご使用いただくための点検・保守・修理サービスの連絡先、およびサービスを依頼される場合にお客様よりお知らせいただく事柄について、以下に記載します。

次のような場合は、下記へご連絡ください。

- ・ サービスエンジニアによる点検・保守・修理に関するお問い合わせ・ご依頼をされる場合
- ・ 取扱説明書に記載が見当たらない事柄についてのお問い合わせ

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、**トラブルシューティングガイド**をご確認ください。簡単な対処で問題が解決されることがあります。対処を行っても問題が解消されない場合はすぐに使用を中止して、必ず電源プラグを抜き、下記サポートコールセンターまでご連絡ください。その際、次の内容をお知らせください。

商品名	e-STUDIO255/355/455
お客様のご連絡先	お名前、おところ、お電話番号、事業所名、部署名
ご依頼事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ お困りの内容 ・ 問題が生じる前に行っていた操作内容や状況 ・ エラーメッセージやエラーコード（表示された場合はお知らせください） これらについて、メモを取っておかれると後で役に立ちます。

補修用部品について

補修用部品の供給年限は、製造中止後7年間です。

お問い合わせ先

故障・保守サービスのご用命は

東芝テックビジネスソリューション サポートコールセンター

電 話： 0570-001192

（発信の際は電話番号の前に「186」を付けてダイヤルをお願いします。）

商品に関するお問い合わせは

東芝テック コンタクトデスク

電 話： 0120-201877

受付時間： 9：00～12：00、13：00～17：00

（土・日・祝祭日および年末年始、弊社休業日を除く）

個人情報の取り扱いについて

- ・ お客様にご記入いただいた住所などの情報は、サービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。
- ・ 修理のために、弊社から修理委託している保守会社などに必要な情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護プログラムが遵守されるよう、適切な措置を取ります。

1

2

3

4

5

困ったときは

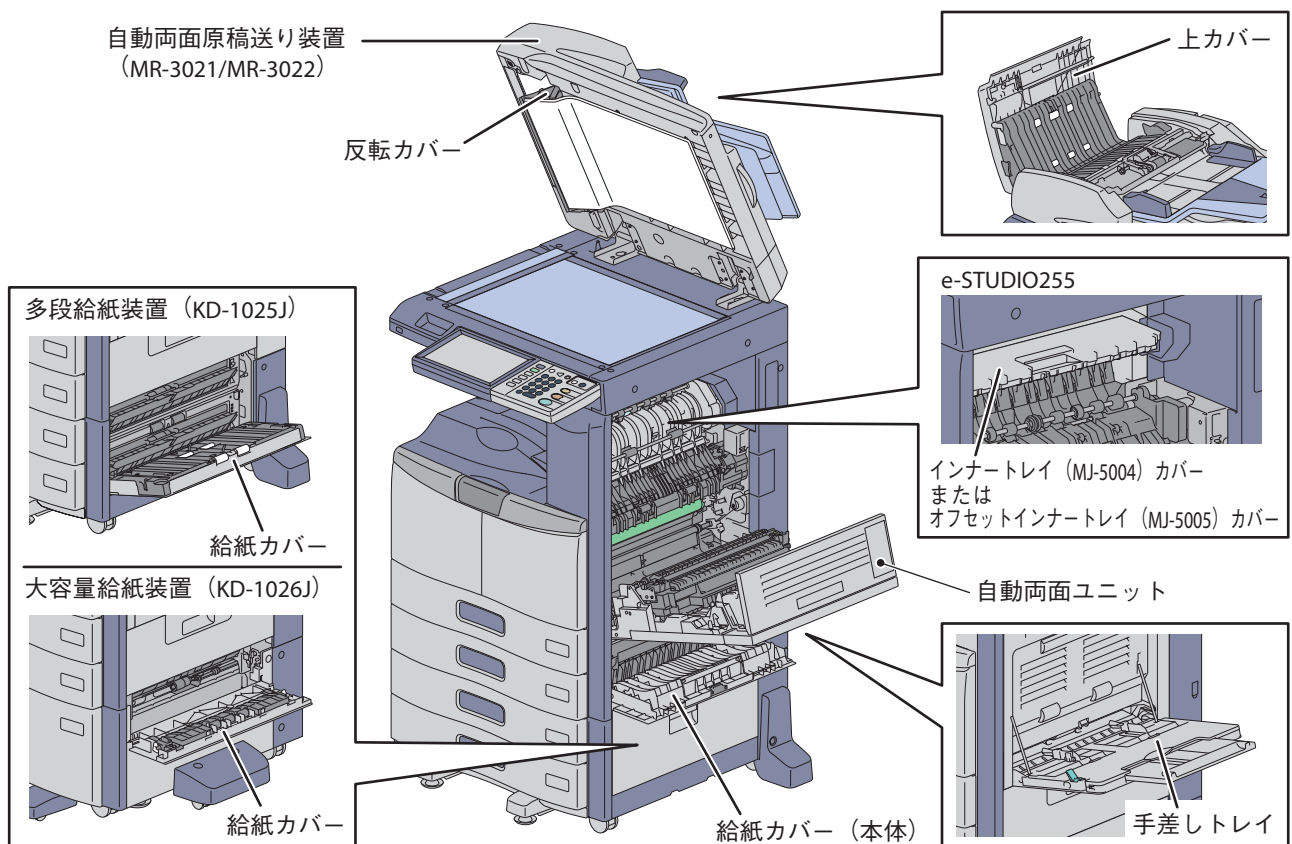
本機のご使用中にトラブルが発生した場合は、以下の説明または**トラブルシューティングガイド**をご覧ください。

紙詰まりのときは

紙詰まりが発生したときは、本機のタッチパネルに表示されるガイダンスまたは**トラブルシューティングガイド**をご覧ください。

本体およびオプションのカバー

紙詰まりのときに開ける、本体およびオプションのカバーは、以下のとおりです。



タッチパネルで点滅するマーク

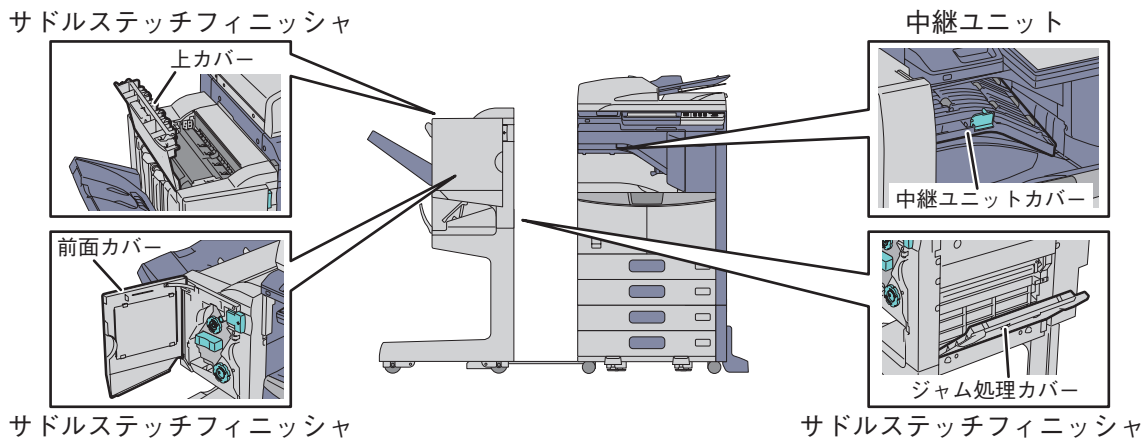
タッチパネルには紙詰まりマークやサービスマンコールマークなどが点滅することがあります。



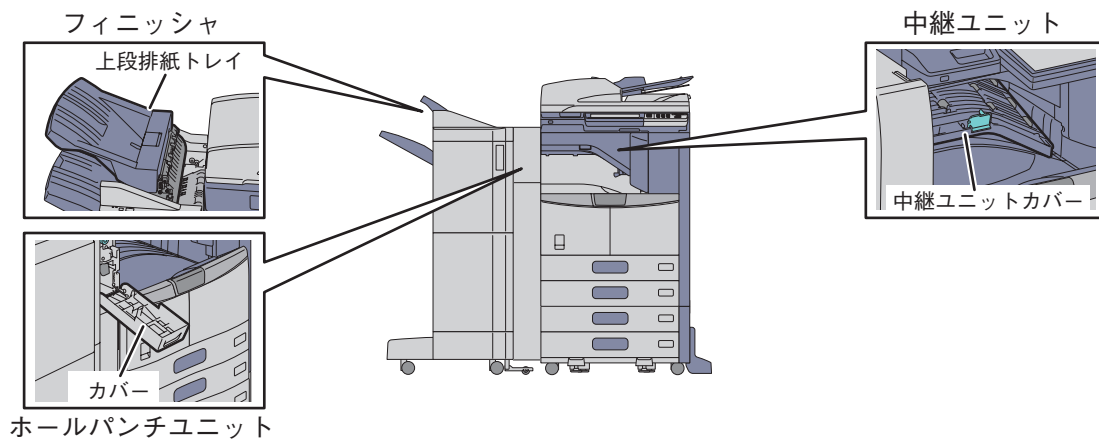
フィニッシャ・ホールパンチユニット・中継ユニット（オプション）のカバー

紙づまりのときに開けるフィニッシャ・ホールパンチユニット・中継ユニットのカバーは、以下のとおりです。

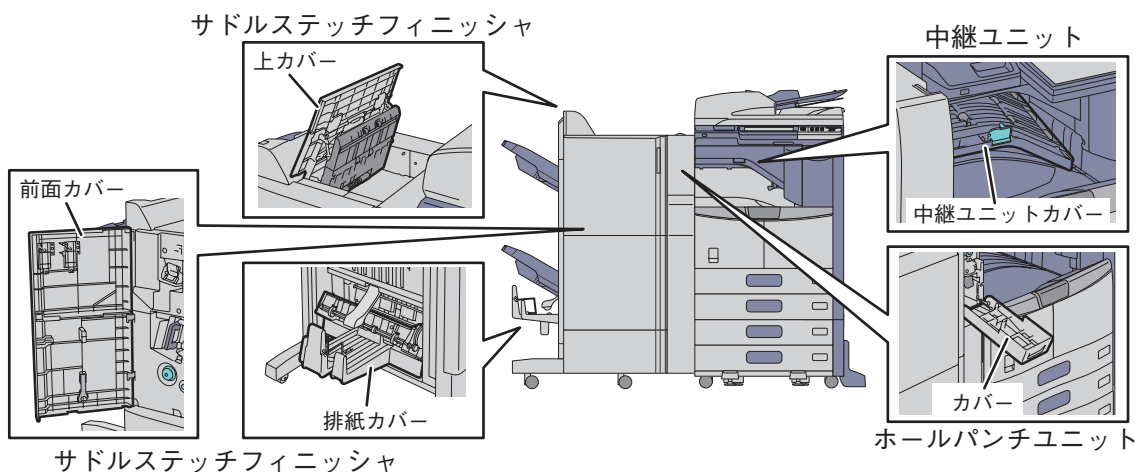
e-STUDIO255 とサドルステッチフィニッシャ（MJ-1025）・ホールパンチユニット（MJ-6005）・中継ユニット（KN-2520）



e-STUDIO355/455 とフィニッシャ（MJ-1101）・ホールパンチユニット（MJ-6101）・中継ユニット（KN-2520）



e-STUDIO355/455 とサドルステッチフィニッシャ（MJ-1024）・ホールパンチユニット（MJ-6004）・中継ユニット（KN-2520）



1

2

3

4

5

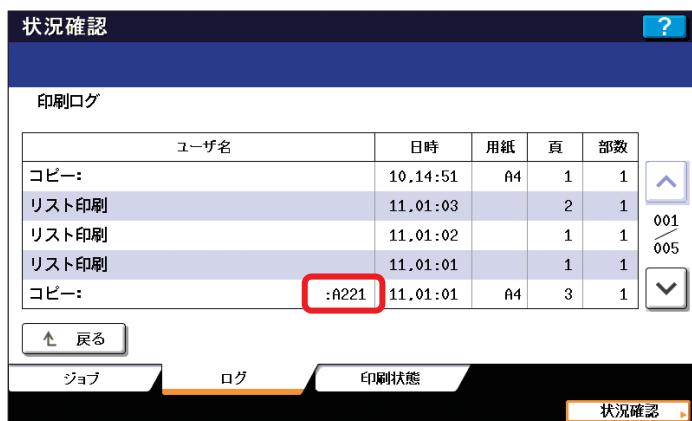
困ったときは

本機のご使用中にトラブルが発生した場合は、トラブルシューティングガイドの下記参照先をご覧ください。

トラブルシューティングガイドの参照先		
章	タイトル	セクション
第1章	機体に関するトラブル	タッチパネルのメッセージ一覧
		紙づまりの解除
		ステイプラの針づまりの解除
		トナーカートリッジの交換
		ステイプラの針の補充
		チャージャのクリーニング
		パンチ屑ケースの清掃
第2章	コピーに関するトラブル	コピー機能のトラブル
第3章	印刷に関するトラブル	印刷ジョブのトラブル
		プリンタドライバのトラブル
		ネットワーク接続のトラブル
		クライアントのトラブル
		ハードウェアのトラブル
第4章	スキャンに関するトラブル	スキャンデータのトラブル
第5章	ファイリングボックスに関するトラブル	ファイリングボックス Web ユーティリティのトラブル
第6章	ネットワーク接続に関するトラブル	本機の検出に関するトラブル
		LDAP 検索と認証に関するトラブル
		印刷に関するトラブル
		N/W-Fax ドライバに関するトラブル
第7章	TopAccess による状態の確認	TopAccess [装置] タブの状態表示アイコン
		メッセージ一覧
		エラーコード一覧
第8章	故障かな?と思ったときは	故障かな?と思ったときは
		日常のお手入れ
		保守サービスについて

エラーコード

タッチパネルで [状況確認] を押し、[ログ] タブを押すと、ログメニューが表示されます。ログメニューでは、本機の実行履歴やエラーコードが表示されます。



第4章

便利な使いかた

便利な使いかた

本機の便利な使いかたをご紹介します。

コピー

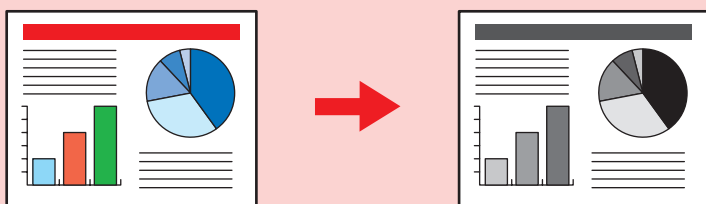
ファクス

スキャン

ファイリングボックス

プリント

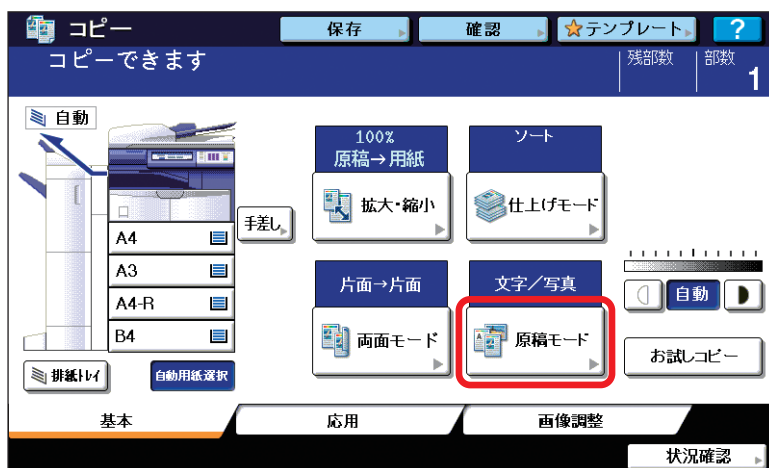
カラーの原稿をきれいにコピーしたい



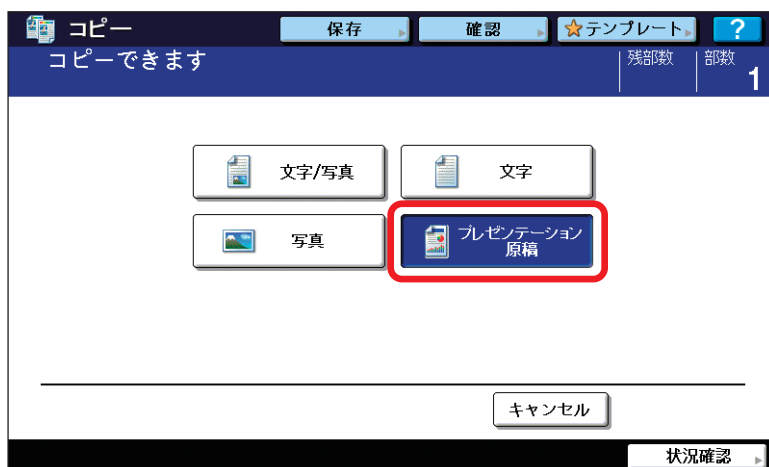
例

プレゼンテーション用の資料など、カラー印刷された原稿をきれいにコピーします。

1. 原稿をセットします。
2. タッチパネルの【原稿モード】を押します。



3. タッチパネルの【プレゼンテーション原稿】を押します。



4. 操作パネルの【スタート】ボタンを押します。

詳細はコピーガイドをご覧ください。

コピー

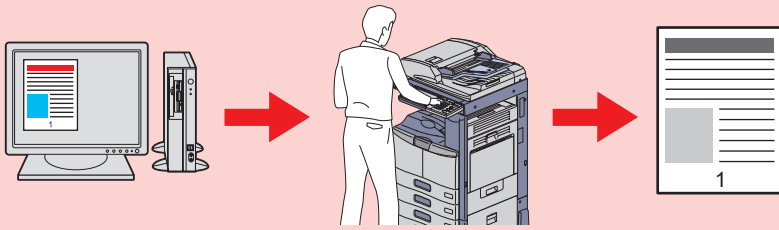
ファクス

スキャン

ファイリングボックス

プリント

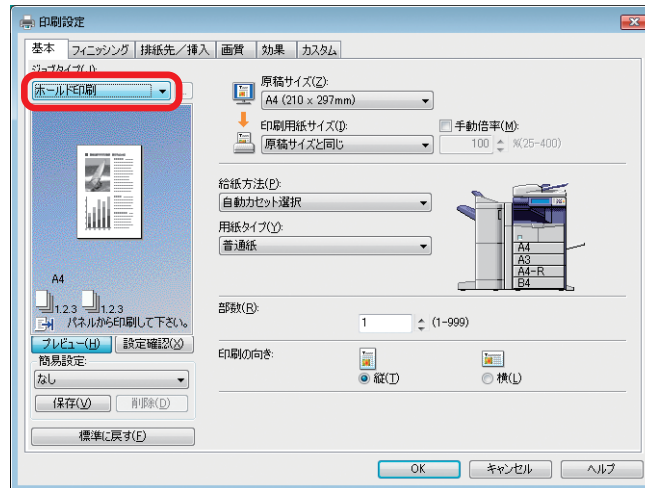
操作パネルで許可したデータだけを印刷したい



例

プリントする際、ホールド印刷を指定することで、操作パネルで許可したデータだけを印刷することができます。印刷した用紙の取り忘れを防止するのに効果的です。

1. 印刷するファイルを開き、アプリケーションのファイルメニューから【印刷】を選択します。
2. 本機のプリンタドライバを選択し、【プロパティ】をクリックします。
3. 【基本】タブのジョブタイプで「ホールド印刷」を選択します。



4. 【OK】をクリックして印刷ダイアログボックスに戻り、【OK】をクリックします。
5. 本機の操作パネルで【プリント】を押し、【ホールド印刷】を押します。
6. ユーザ名を選択します。
7. ① プリントしたいファイルを選択し、② 【印刷】を押します。



詳細は印刷ガイドをご覧ください。

1

2

3

4

5

コピー

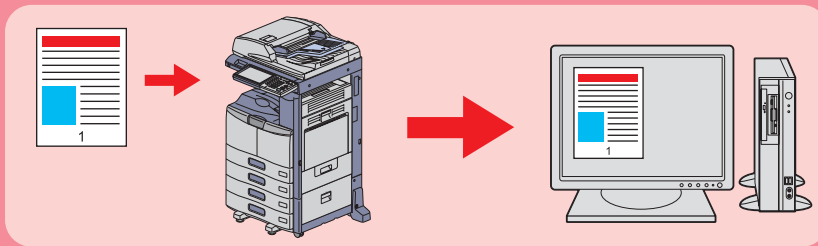
ファクス

スキャン

ファイリングボックス

プリント

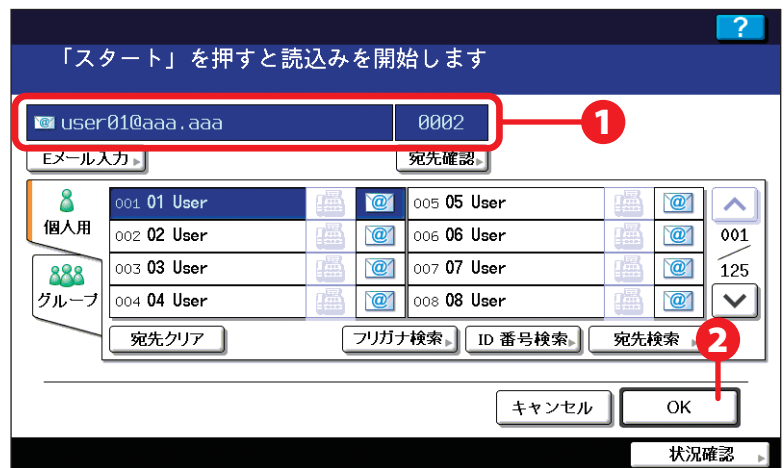
スキャンデータをEメールに添付して送りたい



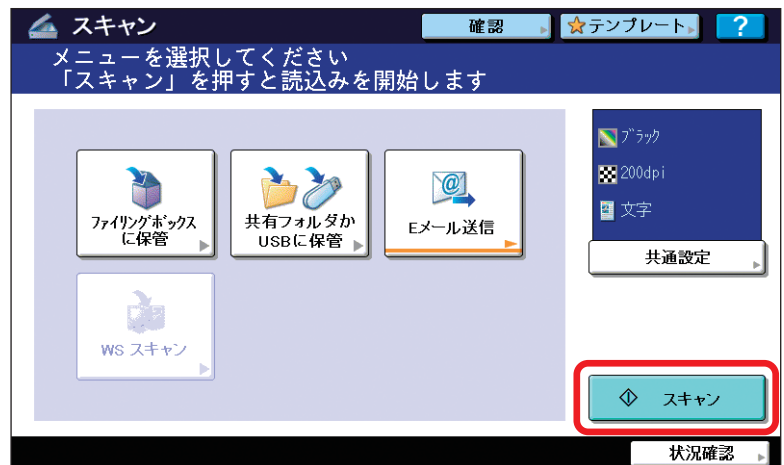
例

スキャンデータをEメールに添付して、指定したEメールアドレスに送信します。

1. 原稿をセットします。
2. タッチパネルの【Eメール送信】を押します。
3. ① 送信先のEメールアドレスを指定し、② 【OK】を押します。



4. 必要に応じてファイルの設定を行います。
5. タッチパネルの【スキャン】を押します。



詳細はスキャンガイドをご覧ください。

コピー

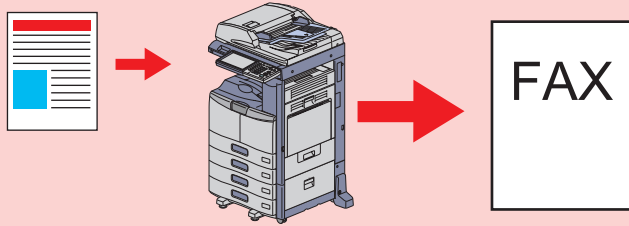
ファクス

スキャン

ファイリングボックス

プリント

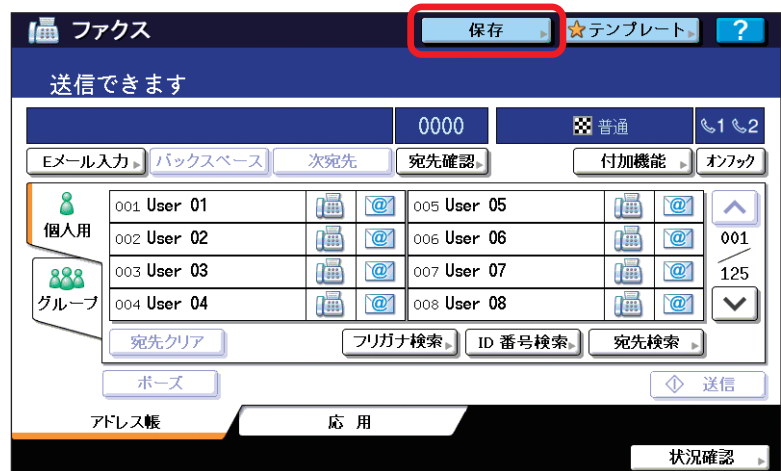
ファクス送信と同時に共有フォルダに保管したい



例

ファクスを送信すると同時に、原稿のデータを本機またはネットワーク上のコンピュータの共有フォルダに保存できます。オプションの FAX ユニットが必要です。

1. 原稿をセットします。
2. [保存] を押します。



3. ① ファイル名、保存先のフォルダ、ファイル形式などを指定し、② [OK] を押します。



4. 宛先を指定し、[送信] を押します。

詳細は GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAX ユニット 取扱説明書をご覧ください。

1

2

3

4

5

コピー

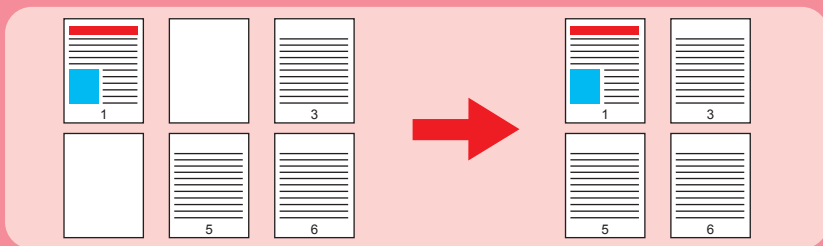
ファクス

スキャン

ファイリングボックス

プリント

白紙を除いてコピー・スキャンしたい

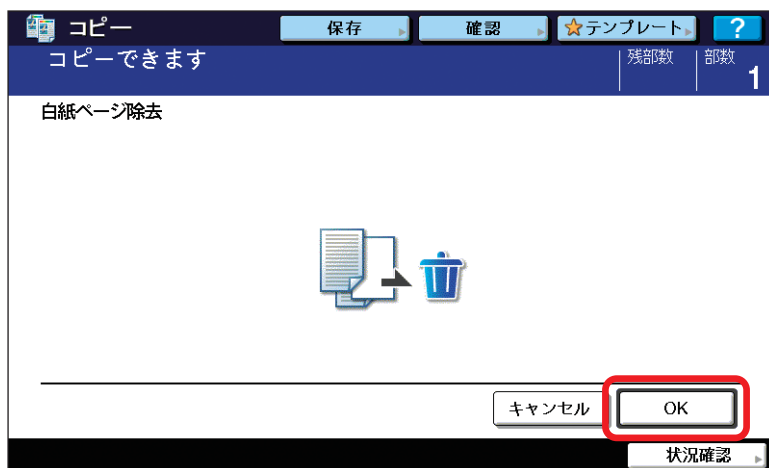


例

白紙を除いてコピー・スキャンしたいときは、コピー・スキャンを実行する前に以下の設定を行ってください（6ページの原稿から、白紙2ページを除きます）。

コピーの場合

1. コピーの基本画面で【応用】タブを押し、 を押します。
2. 【白紙ページ除去】を押し、【OK】を押します。



スキャンの場合

1. スキャンの基本画面で【共通設定】を押し、 を押します。
2. 「白紙ページ除去」設定で ①【ON】を押し、②【OK】を押します。



詳細はコピーガイド・スキャンガイドをご覧ください。

コピー

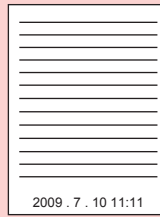
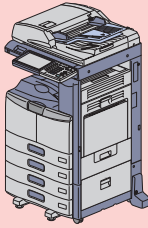
ファクス

スキャン

ファイリングボックス

プリント

文書ファイルに日付と時刻を付けて印刷したい

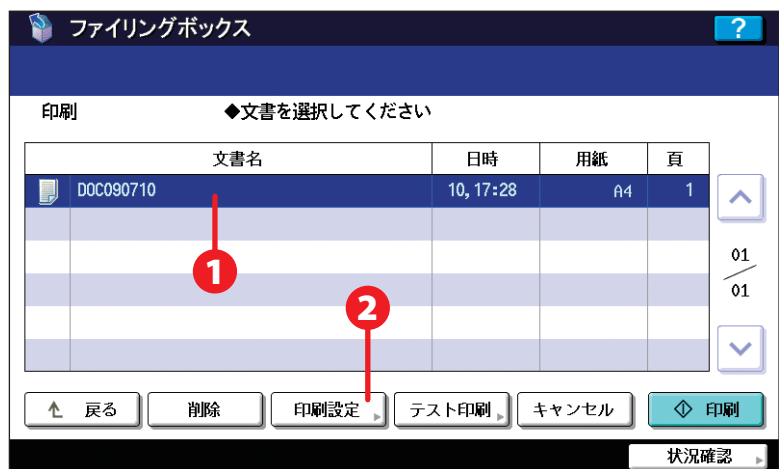


例

ファイリングボックスに保存されている文書ファイルの下部に日付と時刻を付けて印刷します。

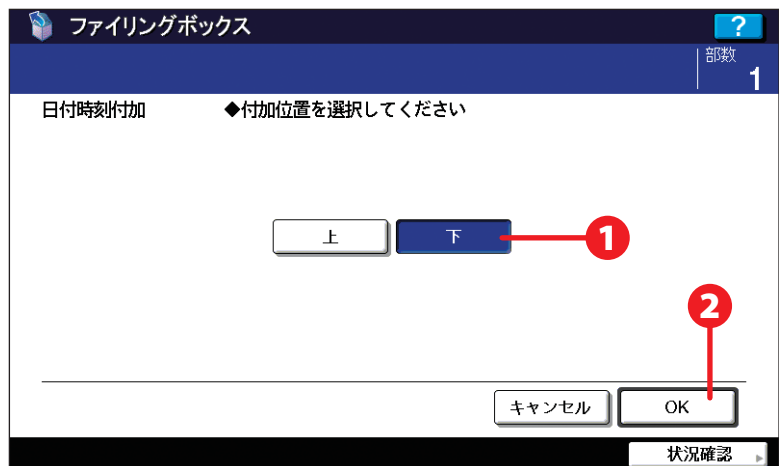
1. 印刷したい文書が保存されているボックスを選択します。

2. ① 文書を選択し、② 【印刷設定】を押します。



3. 【日付・時刻付加】を押します。

4. ① 【下】を押し、② 【OK】を押します。



5. 【印刷】を押します。

詳細はファイリングボックスガイドをご覧ください。

1

2

3

4

5

コピー

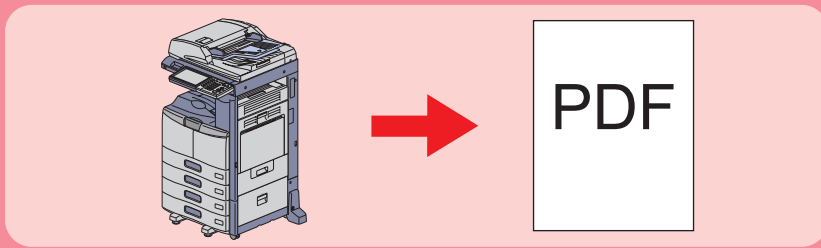
ファクス

スキャン

ファイリングボックス

プリント

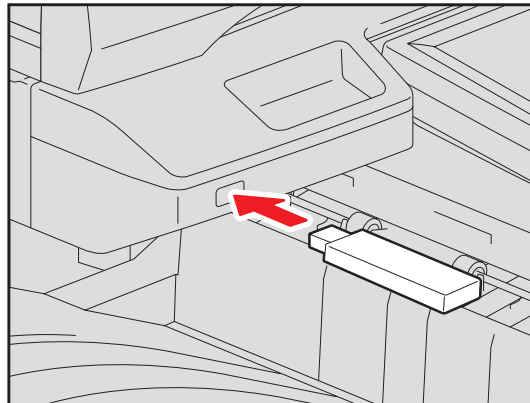
USB メディアに保存した PDF ファイルを印刷したい



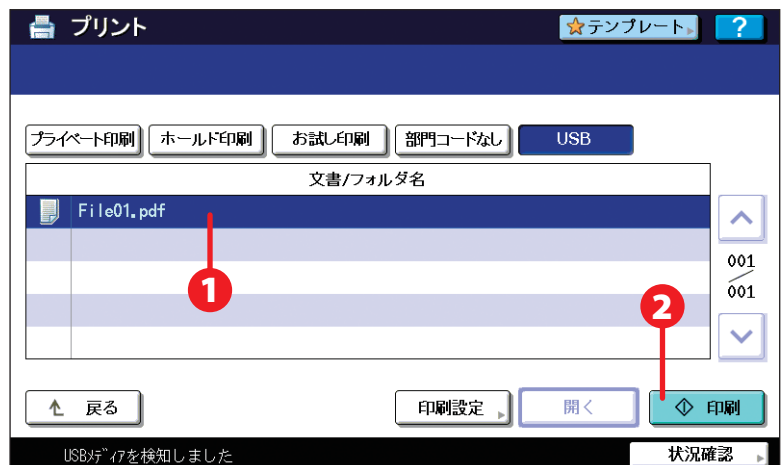
例

USB メディアに保存された PDF ファイルを 1 部印刷します。

1. USB メディアを USB ポートに接続します。



2. 操作パネルの【プリント】ボタンを押します。
3. タッチパネルの【USB】を押します。
4. タッチパネルで ① 印刷したい PDF ファイルを選択し、② 【印刷】を押します。



詳細は印刷ガイドをご覧ください。

コピー

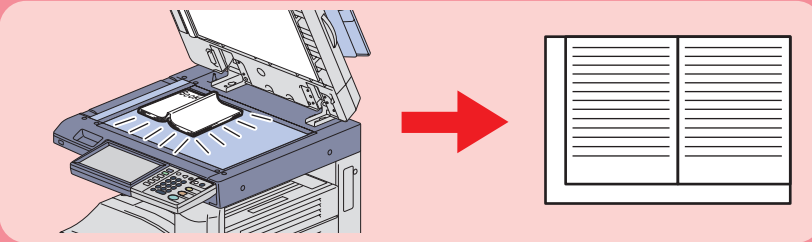
ファクス

スキャン

ファイリングボックス

プリント

原稿の周囲を白くコピー・スキャンしたい

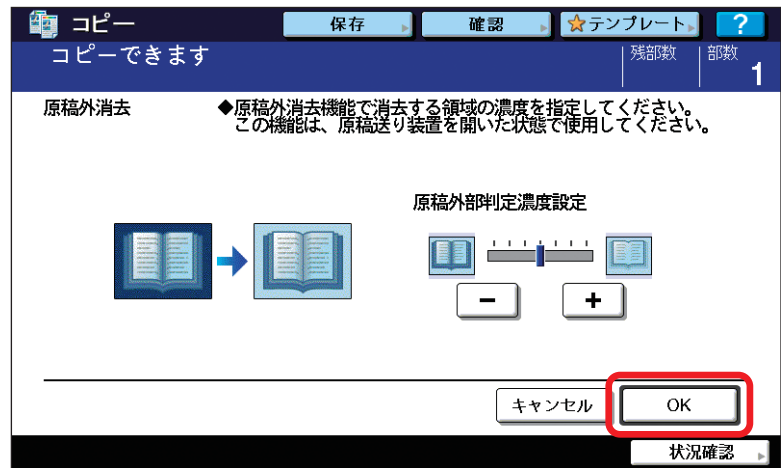


例

厚みのある本などの原稿の周囲を白くしたいときは、コピー・スキャンを実行する前に以下の設定を行ってください。

コピーの場合

1. コピーの基本画面で【応用】タブを押し、 を押します。
2. 【原稿外消去】を押し、【OK】を押します。



スキャンの場合

1. スキャンの基本画面で【共通設定】を押し、 を押します。
2. 「原稿外消去」設定で **①** 【ON】を押し、**②** 【OK】を押します。



詳細はコピーガイド・スキャンガイドをご覧ください。

1

2

3

4

5

第5章

その他

付属品の確認	62
CD-ROM について	63
本機のクライアントソフトウェア	64
本機のオプション	66
部門コード等で機械の使用を管理している場合	69
本機の仕様	74
オプションの仕様	77

付属品の確認

本機の付属品です。

東芝デジタル複写機 e-STUDIO255/355/455 には、以下の付属品が入っています。すべて揃っていることを確認してください。

万一不足・破損しているものがございましたら、お手数ですが弊社販売店までご連絡ください。

付属品

クイックスタートガイド（本書）
安全にお使いいただくために
Client Utilities CD-ROM
User Documentation CD-ROM
お客様登録書
定期点検カード・ケース
取扱説明書ポケット
カードインスト
ストッパ（操作パネル用）

注意

各取扱説明書の詳細については、P.2「取扱説明書の構成」を参照してください。
CD-ROMの詳細については、P.63「CD-ROMについて」を参照してください。

CD-ROM について

Client Utilities CD-ROM の内容です。

Client Utilities CD-ROM には、以下のクライアントソフトウェアが含まれています。

クライアントソフトウェア

Windows 専用	クライアントソフトウェア・インストーラ
	PCL6 プリンタドライバ
	PS3 プリンタドライバ
	XPS プリンタドライバ
	TWAIN ドライバ
	ファイルダウンローダ
	N/W-Fax ドライバ
	AddressBook Viewer
	Remote Scan ドライバ
	WIA ドライバ
	ファイリングボックス Backup/Restore Utility
Macintosh 専用	Mac OS X 10.2.4 ~ Mac OS X 10.5.x 用 PPD ファイル
UNIX/Linux 専用	UNIX/Linux フィルタ (Solaris、HP-UX、AIX、Linux、SCO)
	CUPS

注意

各クライアントソフトウェアの詳細については、P.64 「本機のクライアントソフトウェア」を参照してください。

1

2

3

4

5

本機のクライアントソフトウェア

クライアントソフトウェアは印刷、スキャン、ファイリングボックス、ネットワーク管理、ネットワークファクスの各機能向けのものがあります。

印刷機能用のクライアントソフトウェア

PCL6 プリンタドライバ	TrueType フォントを使用したカラー／モノクロ文書を Windows コンピュータから印刷する場合に使用します。
PS3 プリンタドライバ	PostScript フォントや画像を使用した文書を Windows コンピュータから印刷する場合に使用します。通常はこのプリンタドライバを使用します。
XPS プリンタドライバ	XPS は Microsoft 社が開発したページ記述言語です。XPS プリンタドライバは、Microsoft Windows Vista 用に作成されたアプリケーション（WPF アプリケーション）から印刷する場合に使用します。
Macintosh PPD ファイル	Macintosh コンピュータ（Mac OS X 10.2.4 ～ Mac OS X 10.5.x）から印刷する場合に使用します。
UNIX/Linux フィルタ	UNIX/Linux フィルタを使用すると、TCP/IP 環境で UNIX/Linux ワークステーションから印刷することができます。
CUPS	CUPS 用ファイルを使用して、UNIX/Linux ワークステーションから CUPS 印刷システムをセットアップすることができます。

詳細はインストールガイド・印刷ガイドをご覧ください。

スキャン機能用のクライアントソフトウェア

Remote Scan ドライバ	TCP/IP ネットワーク環境にて、本機でリモート操作によるスキャンを行うと、スキャンデータを画像として Windows コンピュータの TWAIN 対応アプリケーションに取り込むことができます。
WIA ドライバ	スキャンデータを画像として Windows コンピュータの WIA（Windows Imaging Acquisition）ドライバ対応アプリケーションに取り込むことができます。

詳細はインストールガイド・Remote Scan ドライバ 取扱説明書・スキャンガイドをご覧ください。

ファイリングボックス機能用のクライアントソフトウェア

TWAIN ドライバ	TCP/IP ネットワーク環境にて、ファイリングボックスに保管された文書を画像として、Windows コンピュータの TWAIN 対応アプリケーションに取り込むことができます。
ファイルダウンローダ	TCP/IP ネットワーク環境にて、ファイリングボックスに保管された文書を画像ファイルとして、お使いの Windows コンピュータに保存することができます。
ファイリングボックス Web ユーティリティ	お使いのコンピュータからブラウザを使い、ボックスやフォルダの作成、文書の移動や削除ができます。また、ファイリングボックスの管理を行うことができます。
ファイリングボックス Backup/Restore Utility	ファイリングボックスのデータをバックアップまたはリストアすることができます。

詳細はインストールガイド・TWAIN ドライバ / ファイルダウンローダ 取扱説明書・ファイリングボックスガイド・Backup/Restore Utility 取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク管理機能用のクライアントソフトウェア

TopAccess	お使いのコンピュータからブラウザを使って装置情報の表示やジョブの監視、テンプレートの作成やアドレス帳の管理を行うことができます。管理者機能では、お使いのコンピュータからブラウザを使って装置の設定やメンテナンスを行うことができます。
------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

詳細は **TopAccess ガイド** をご覧ください。

ネットワークファクス機能用のクライアントソフトウェア

N/W-Fax ドライバ	お使いのコンピュータから本機を介して、複数の宛先またはグループへ電子文書をファクス／インターネットファクス送信することができます。
AddressBook Viewer	連絡先のファクス番号やインターネットファクスのアドレスを管理することができます。また、アドレス帳をコンピュータから本機にアップロードして使用することもできます。AddressBook Viewer で管理している連絡先は、ネットワークファクスで文書をファクス／インターネットファクス送信する際に使用することができます。

詳細は **インストールガイド・ネットワークファクスガイド・AddressBook Viewer 取扱説明書** をご覧ください。

1

2

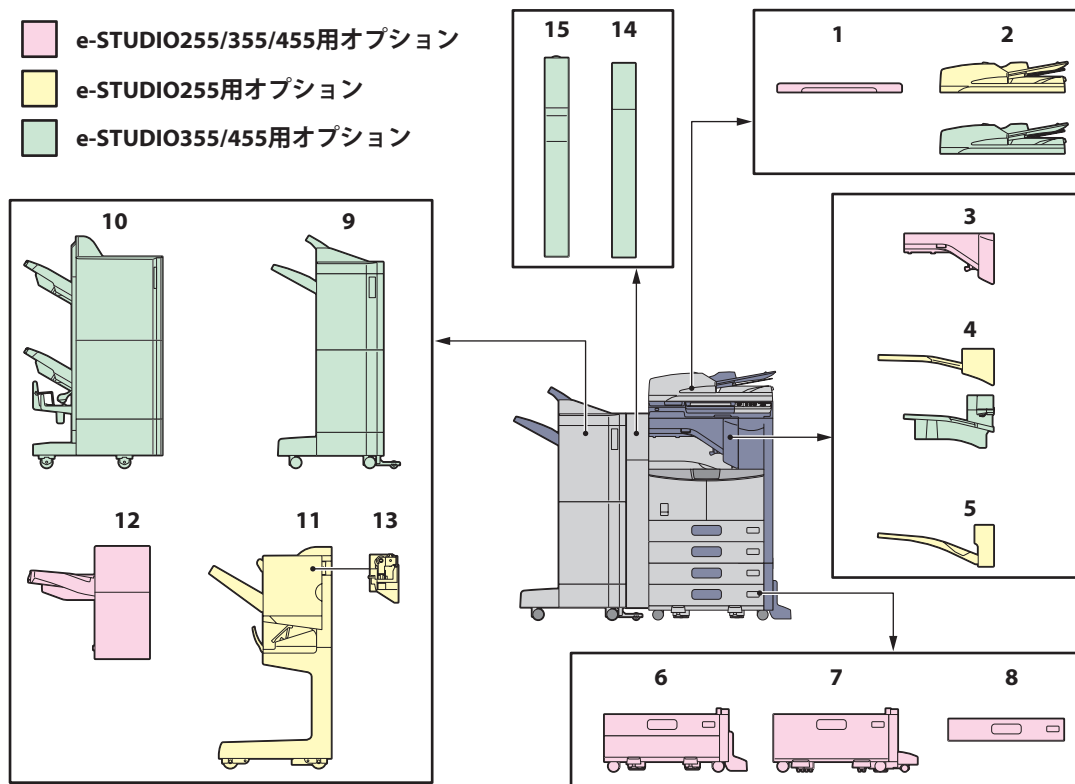
3

4

5

本機のオプション

本機のオプションです。



- 1. 原稿カバー (KA-1640PC)**
原稿を押さえます。
- 2. 自動両面原稿送り装置 (MR-3021、MR-3022)**
シート原稿を自動的に1枚ずつ送り込む装置です。e-STUDIO255にはMR-3021を、e-STUDIO355/455にはMR-3022を装着することができます。
- 3. 中継ユニット (KN-2520)**
フィニッシャーと本機を中継する装置です。
- 4. インナートレイ (MJ-5004/MJ-5006)**
ファクスとコピー、プリンタの機能別出力ができます。e-STUDIO255にはMJ-5004を、e-STUDIO355/455にはMJ-5006を装着することができます。
- 5. オフセットインナートレイ (MJ-5005)**
出力する用紙を一部ごとにとずらして出力できます。
- 6. 多段給紙装置 (KD-1025J)**
給紙カセットを1段追加する装置です。さらに、オプションの追加給紙カセット (MY-1033) を装着することもできます。
- 7. 大容量給紙装置 (KD-1026J)**
A4サイズの用紙を最大2000枚 (80 g/m²) まで補給できる装置です。
- 8. 追加給紙カセット (MY-1033)**
多段給紙装置 (KD-1025J) に追加する給紙カセット (1段) です。本体の2段と合わせて4段のカセット給紙が可能になります。
- 9. フィニッシャー (MJ-1101)**
ソート/グループ仕分け、ステイプルが可能なフィニッシャーです。ホールパンチユニット (オプション、MJ-6101E) を取り付けることができます。取り付けには中継ユニット (オプション、KN-2520) が必要です。
- 10. サドルステッチフィニッシャー (MJ-1024)**
ソート/グループ仕分け、ステイプルのほか、サドルステッチも可能なフィニッシャーです。ホールパンチユニット (オプション、MJ-6004E) を取り付けることができます。取り付けには中継ユニット (オプション、KN-2520) が必要です。
- 11. サドルステッチフィニッシャー (MJ-1025)**
ソート/グループ仕分け、ステイプルのほか、サドルステッチも可能なフィニッシャーです。ホールパンチユニット (オプション、MJ-6005E) を取り付けることができます。取り付けには中継ユニット (オプション、KN-2520) が必要です。
- 12. ハングングフィニッシャー (MJ-1031)**
ソート/グループ仕分け、ステイプルが可能なフィニッシャーです。取り付けには中継ユニット (オプション、KN-2520) が必要です。

13. ホールパンチユニット (MJ-6005E)

出力紙にパンチ穴を開けることができます。サドルステッチフィニッシャ (MJ-1025) に装着して使用します。

14. ホールパンチユニット (MJ-6101E)

出力紙にパンチ穴を開けることができます。フィニッシャ (MJ-1101) に装着して使用します。

15. ホールパンチユニット (MJ-6004E)

出力紙にパンチ穴を開けることができます。サドルステッチフィニッシャ (MJ-1024) に装着して使用します。

このほかのオプションとして、以下のものがあります。詳しくはサービスエンジニア、または弊社販売店にお問い合わせください。

原稿置き台 (KK-4550)

本機操作中に原稿などを置くための小さな台です。
・本機の右側に装着されます。

FAX ユニット (GD-1250J)

本機をファクスとしてご利用になるためのユニットです。
・機体内部に装着されます。

回線増設ユニット (GD-1260J)

ファクスに回線を増設し、2回線にするためのユニットです。
・機体内部に装着されます。
・FAX ユニット (GD-1250J) が必要です。

ファクスハンドセット (GJ-1140J)

通常電話、オフフック送信、手動受信が可能になります。
・本機の左奥側に装着されます。
・FAX ユニット (GD-1250J) が必要です。

プリンタキット (GM-1150J、GM-1160J)

本機でプリンタ機能をご利用になるためのキットです。
e-STUDIO255 には GM-1150J、e-STUDIO355/455 には GM-1160J を装着することができます。

プリンタ/スキャナキット (GM-2150J、GM-2160J)

本機でプリンタおよびスキャナの両機能をご利用になるためのキットです。
e-STUDIO255 には GM-2150J、e-STUDIO355/455 には GM-2160J を装着することができます。

スキャナキット (GM-4150、GM-4160)

本機でスキャナ機能をご利用になるためのキットです。
e-STUDIO255 には GM-4150、e-STUDIO355/455 には GM-4160 を装着することができます。

デスク (MH-2520)

本機を載せるための台です。

アクセシブルアーム (KK-2550)

車椅子をお使いの方が座ったまま自動両面原稿送り装置 (MR-3021、MR-3022) を閉じることができます。

📖 P.68 「アクセシブルアームの使いかた」

無線 LAN モジュール (GN-1050)

本機を無線 LAN 環境で使用できるようになります。

- ・機体内部に装着されます。
- ・アンテナ (GN-3010) が必要です。
- ・本機を無線 LAN と有線 LAN に同時に接続することはできません。

Bluetooth モジュール (GN-2010)

本機で Bluetooth 印刷が可能となります。

- ・機体内部に装着されます。
- ・アンテナ (GN-3010) が必要です。

アンテナ (GN-3010)

無線 LAN モジュールおよび Bluetooth モジュール装着時に使用します。

e-BRIDGE ID Gate (KP-2003、KP-2005)

e-BRIDGE ID Gate に IC カードをかざすだけで、本機にログインして使用できるようになります。
・本機の右側に装着されます。

データ消去オプション (GP-1070)

コピー、プリント、スキャン、ファクス、インターネットファクスおよびネットワークファクスを行ったときの一時保管データを消去するためのオプションです。一時保管データ上に、無効なデータを上書きします。

IPsec オプション (GP-1080)

本機で IPsec 機能を使えるようになります。

メタスキャンオプション (GS-1010)

本機でメタスキャン機能を使えるようになります。

外部連携オプション (GS-1020)

本機で EWB 機能を使えるようになります。

1

2

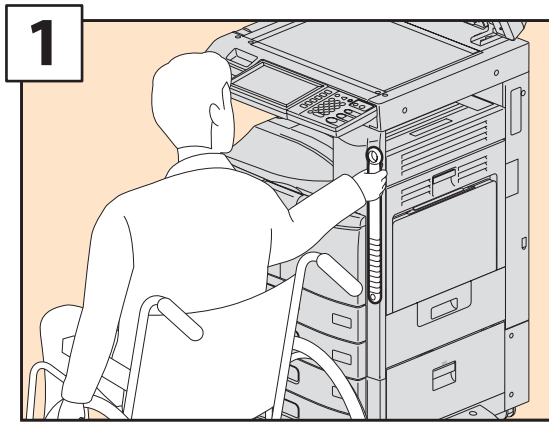
3

4

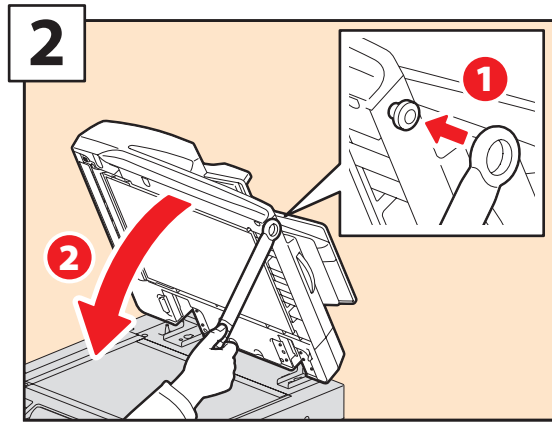
5

アクセシブルアームの使いかた

アクセシブルアーム（オプション、KK-2550）をお使いになると、車椅子をお使いの方が座ったまま自動両面原稿送り装置（オプション、MR-3021/MR-3022）を閉じることができます。



アクセシブルアームを持ちます。



アクセシブルアームを自動両面原稿送り装置右側に掛け、自動両面原稿送り装置を閉じます。

部門コード等で機械の使用を管理している場合

部門管理機能やユーザ管理機能を使用して本機が管理されている場合、コピーなどの操作を行う前に、部門コードやユーザ情報を入力する必要があります。

部門管理機能で管理している場合

部門コードを使うと、本機の使用者を制限したり、部門ごとの出力実績を管理したりすることができます。部門コードで管理している場合は、電源オンした後に部門コードを入力します。部門コードの設定／登録方法については、**設定管理ガイド**を参照してください。

本機の電源をオンにすると、以下の画面が表示されます。

[認証] ボタンを押したときやオートクリア機能が働いたときにも、以下の画面が表示されます。

登録されている部門コード（5桁）を入力し、[OK] を押してください。画面が切り替わり、本機が使用可能な状態になります。

入力した部門コードに誤りがあると画面は切り替わりません。正しい部門コードを再度入力してください。

機械を使い終わったら

機械の不正使用を防ぐため、機械を使い終わったら操作パネル上の [認証] ボタンを押してください。部門コードの入力画面に戻ります。

1

2

3

4

5

ユーザ管理機能で管理している場合

ユーザ管理機能を用いると、本機の利用者を制限したり、利用者一人一人に対して使用できる機能や出力実績を管理することができます。ユーザ管理を行っている場合は、電源オンした後にユーザ情報（ユーザ名やパスワードなど）を入力します。[認証] ボタンを押したときやオートクリア機能が働いたときにも入力画面が表示されるので、以下の手順に従って入力してください。

補足

ユーザ管理機能でゲストユーザを有効にしている場合は、[GUEST] ボタンが表示されます。ゲストユーザでログインする場合は、[GUEST] を押してください。ゲストユーザが利用できる機能については、管理者にご確認ください。

内部認証、LDAP 認証

The screenshot shows a login screen with a dark blue header. The header contains the text "login名を入力してください" (Please enter login name) on the left, and "残部数" (Remaining number of parts) and "部数" (Number of parts) on the right, with the value "1" displayed. Below the header, the text "ユーザ認証" (User authentication) is followed by a diamond icon and the instruction "◆ユーザ名とパスワードを入力してください" (Please enter user name and password). There are two input fields: "ユーザ名" (User name) and "パスワード" (Password). To the right of the "ユーザ名" field is a button labeled "GUEST". At the bottom right, there is an "OK" button.

Windows ドメイン認証

The screenshot shows a login screen similar to the one above. The header and the "ユーザ認証" section are identical. However, there are three input fields: "ユーザ名" (User name), "パスワード" (Password), and "ドメイン" (Domain). The "ドメイン" field contains the text "Dept01". To the right of the "ユーザ名" field is a button labeled "GUEST". At the bottom right, there is an "OK" button.

1 認証画面が表示されます。

内部認証、LDAP 認証

Windows ドメイン認証

【ドメイン】欄には、ネットワーク管理者があらかじめ設定したドメイン名が表示されます。

補足

所属しているドメイン名が表示されていない場合は、【ドメイン】を押し、所属するドメインを選択してください。

1

2

3

4

5

2 [ユーザ名] を押します。

The screenshot shows a login interface with a blue header bar containing the text "login名を入力してください" and "残部数 部数 1". Below the header, the text "ユーザ認証 ◆ユーザ名とパスワードを入力してください" is displayed. There are three input fields: "ユーザ名" (highlighted with a red box), "パスワード", and "ドメイン" (with "Dept01" entered). An "OK" button is located at the bottom right.

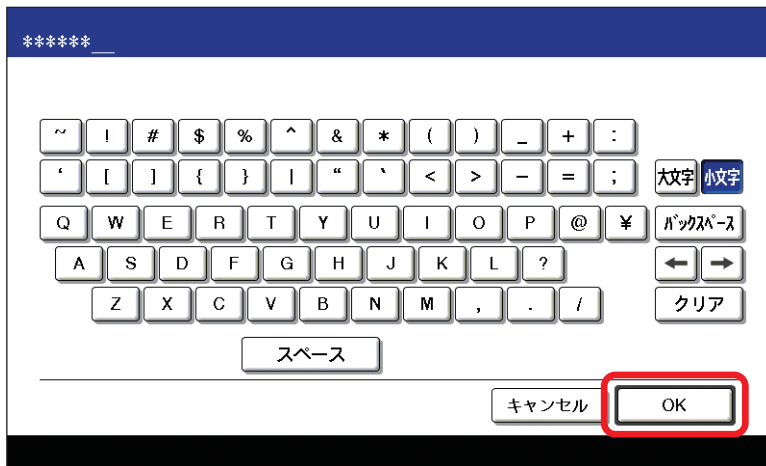
3 ユーザ名（半角英数のみ。最大 128 文字）を入力し、[OK] を押します。

The screenshot shows a virtual keyboard interface. The text "User01_" is visible at the top left. The keyboard includes various keys such as tilde, numbers with symbols, punctuation, letters, and function keys like "大文字", "小文字", "バックスペース", "クリア", and "スペース". The "OK" button is highlighted with a red box.

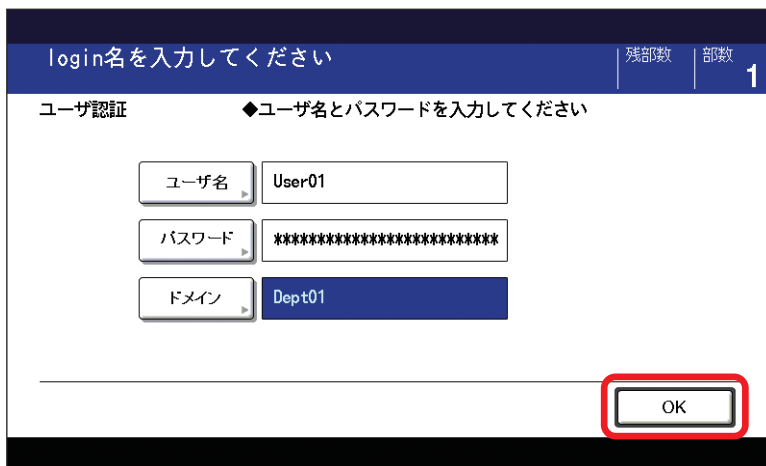
4 [パスワード] を押します。

The screenshot shows the same login interface as in step 2. The "ユーザ名" field now contains the text "User01". The "パスワード" button is highlighted with a red box. The "ドメイン" field still contains "Dept01". The "OK" button is at the bottom right.

5 パスワード（半角英数のみ。最大 64 文字）を入力し、[OK] を押します。



6 [OK] を押します。



1

2

3

4

5

本機の仕様

本機の仕様です。

使用できる用紙の種類

給紙元	用紙タイプ	用紙坪量	給紙容量	用紙サイズ
カセット	普通紙	64 ~ 80 g/m ²	約 600 枚 (64 g/m ²) 約 550 枚 (75 g/m ²) 約 550 枚 (80 g/m ²)	AB 系列： A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、 B5-R、FOLIO LT 系列： LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP、 13" LG、8.5" SQ K 系列： 8K、16K、16K-R
	厚紙 1	81 ~ 105 g/m ²	約 450 枚	
大容量給紙装置 (オプション)	普通紙	64 ~ 80 g/m ²	約 2360 枚 (64 g/m ²) 約 2000 枚 (75 g/m ²) 約 2000 枚 (80 g/m ²)	A4
	厚紙 1	81 ~ 105 g/m ²	約 1660 枚	
手差しトレイ	薄紙 ^{*1}	52 ~ 63 g/m ²	1 枚	AB 系列： A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、 B5-R、FOLIO LT 系列： LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP、 13" LG、8.5" SQ K 系列： 8K、16K、16K-R
	普通紙 ^{*2}	64 ~ 80 g/m ²	約 100 枚 (64 g/m ²) 約 100 枚 (75 g/m ²) 約 100 枚 (80 g/m ²)	
	厚紙 1	81 ~ 105 g/m ²	約 80 枚	非定形サイズ： 縦：100 ~ 297 mm、 横：148 ~ 432 mm
	厚紙 2 ^{*1、*3}	106 ~ 163 g/m ²	約 40 枚	
	厚紙 3 ^{*1、*4}	164 ~ 209 g/m ²	約 30 枚	
	OHP フィルム ^{*1}	-	1 枚	A4、LT
	封筒 ^{*1}	-	1 枚	長形 3 号 (120 mm x 235 mm)、 洋形 4 号 (105 mm x 235 mm)、 DL (110 mm x 220 mm)、 COM10 (4 1/8" x 9 1/2")、 Monarch (3 7/8" x 7 1/2")
	TAB 紙 ^{*1}	-	-	A4

*1 自動両面コピーはできません。

*2 トレーシングペーパーに印刷する場合、用紙タイプは「普通紙」を設定してください。トレーシングペーパーは自動両面コピーできません。

*3 ラベル紙を印刷する場合、用紙タイプは「厚紙 2」を設定してください。用紙は 1 枚ずつセットしてください。

*4 郵便はがきを印刷する場合、用紙タイプは「厚紙 3」を設定してください。

各用紙タイプの推奨紙

用紙タイプ	名称		サイズ
普通紙	東芝 PPC ペーパー (64 g/m ²)		A3、A4、A5、B4、B5
	オーストリッチインターナショナルトレーシングペーパー (75 g/m ² のみ) *2		-
厚紙 1	東芝フルカラーコピー推奨紙	(105 g/m ²)	A3、A4、B4、B5
厚紙 2	東芝フルカラーコピー推奨紙	(127 g/m ²)	A3、A4、B4、B5
		(157 g/m ²)	
厚紙 3	東芝フルカラーコピー推奨紙	(209 g/m ²)	A3、A4、B4、B5
	郵便はがき (190 g/m ²) *2、*3		100 mm × 148 mm (横置きのみ)
OHP フィルム *1、*2	3M 社製 PP2500		A4
封筒	(株) イムラ封筒フレッシュトーン長 3 100 g/m ² N3U-554N (ホワイト) 菅公工業 (株) うずまき封筒 カスタム・4 ヨ 704		-

*1 OHP フィルムは必ず弊社指定のものをお使いください。指定以外のフィルムを使用すると故障の原因となることがあります。

*2 自動両面コピーはできません。

*3 インクジェット用はがき、写真用はがき、折り目付き往復はがき、私製はがきは使用できません。

1

2

3

4

5

e-STUDIO255/355/455 の仕様

型名	DP-2520/DP-3570/DP-4570	
形式	デスクトップタイプ	
原稿台方式	固定式	
複写（印刷）方式	間接電子写真方式	
現像方式	乾式 2 成分磁気ブラシ現像方式	
定着方式	e-STUDIO255：ハロゲンランプ 2 本方式 e-STUDIO355/455：ハロゲンランプ 3 本方式	
感光体種類	OPC ドラム	
原稿読み取り方式	平面走査方式 (自動両面原稿送り装置使用時：走査部固定原稿流し読み方式)	
原稿読み取りセンサー	CCD ラインセンサー	
読み取り光源	キセノンランプ	
解像度	読み取り	600 dpi × 600 dpi
	書き込み	2400 dpi × 600 dpi (スムージング処理)
原稿種類	シート、ブック、立体物	
原稿サイズ	最大 A3	
用紙サイズ	カセット	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP、13"LG、8.5"SQ、8K、16K、16K-R
	手差し	縦：100～297 mm、横：148～432 mm の範囲の用紙
用紙の坪量	カセット	64～105 g/m ²
	手差し	64～209 g/m ² (連続給紙の場合) 52～209 g/m ² (1枚給紙の場合) 64～105 g/m ² (自動両面ユニット使用時)
ウォームアップ・タイム	約 20 秒	
ファーストコピー・タイム (A4 ヨコ)	e-STUDIO255：4.7 秒 e-STUDIO355/455：3.7 秒	
連続複写速度	コピーガイドを参照	
連続複写枚数	1～999 枚 (テンキー入力)	
画像欠け幅	コピー	先端：3.0 ± 2.0 mm、後端：2.0 ± 2.0 mm、両端：2.0 ± 2.0 mm
	プリント	先端：4.2 ± 2.0 mm、後端：4.2 ± 2.0 mm、両端 4.2 ± 2.0 mm
複写倍率	等倍	100 ± 0.5%
	ズーム	25～400% (1% 刻み) 自動両面原稿送り装置 (オプション) 使用時：25～200% (1% 刻み)
給紙容量	カセット：約 550 枚、手差し：約 100 枚 (80 g/m ²)	
排紙トレイ容量	約 550 枚 (80 g/m ²)	
トナー濃度調整方式	磁気式オートトナー方式	
濃度調整	自動濃度および手動濃度調整 (11 ステップ)	
USB インターフェイス	USB2.0 (Hi-Speed)	
使用環境 (通常使用時)	温度 10～30 °C、湿度 20～85% (結露なきこと)	
電源	AC100V ± 10% (50/60Hz)	
最大消費電力	1.5 kW 以下 (オプション含む)	
大きさ (本体のみ)	幅 575 mm × 奥行 586 mm × 高さ 756 mm	
質量	e-STUDIO255：約 57 kg e-STUDIO355/455：約 60 kg	
機械占有寸法 (本体のみ)	幅 889 mm × 奥行 586 mm	
入力可能原稿枚数	1000 枚またはメモリアル (弊社独自チャート)	
エネルギー消費効率	e-STUDIO255：26 Wh/h e-STUDIO355：29 Wh/h e-STUDIO455：45 Wh/h	

- ・ 本仕様は、使用条件、使用環境により変わる場合があります。
- ・ 仕様は予告なしに変更することがあります。

オプションの仕様

オプションの仕様です。

自動両面原稿送り装置

型名	MR-3021 (DP-2520 用)、MR-3022 (DP-3570/DP-4570 用)
原稿コピー面	片面、両面
原稿セット数	100 枚 (35 ~ 80 g/m ²) または積載高さ 16 mm 以下 (80 g/m ² 超)
原稿処理速度	45 枚 / 分 (600 dpi)
原稿サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP (A5、ST は使用不可)
原稿の坪量	片面原稿：35 ~ 157 g/m ² 、両面原稿：50 ~ 157 g/m ²
電源	DC24V (本体より供給)
大きさ	幅 575 mm × 奥行 528 mm × 高さ 135 mm
質量	約 12.5 kg
最大消費電力	49.5 W 以下

大容量給紙装置

型名	KD-1026J
用紙サイズ	A4
用紙の坪量	64 ~ 105 g/m ²
用紙収容可能枚数	最大 2000 枚 (80 g/m ²) (高さ：約 110 mm × 2)
電源	DC 5 V、DC 24 V、AC 100 V (本体より供給)
大きさ	幅 668 mm × 奥行 735 mm × 高さ 292 mm (スタビライザ含む)
質量	約 26 kg

多段給紙装置 (1 段タイプ)

型名	KD-1025J
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP、8.5"SQ、13"LG、8K、16K、16K-R (A5、ST、非定形サイズは使用不可)
用紙の坪量	64 ~ 105 g/m ²
用紙収容可能枚数	最大 550 枚 (80 g/m ²)
電源	DC 5 V、DC 24 V、AC 100 V (本体より供給)
大きさ	幅 660 mm × 奥行 701 mm × 高さ 292 mm (スタビライザ含む)
質量	約 21 kg

追加給紙カセット

型名	MY-1033
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP、8.5"SQ、13"LG、8K、16K、16K-R (A5、ST、非定形サイズは使用不可)
用紙の坪量	64 ~ 105 g/m ²
用紙収容可能枚数	最大 550 枚 (80 g/m ²)
質量	約 9 kg

1

2

3

4

5

フィニッシャ (MJ-1101)

型名	MJ-1101 (DP-3570/DP-4570 用)			
形式	床置き型 (コンソールタイプ)			
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP、8.5"SQ、13"LG、はがき、8K、16K、16K-R			
用紙の坪量	52 ~ 209 g/m ²			
ステイプル枚数 (表紙 2 枚 (64 ~ 209 g/m ²) を含む)	用紙サイズ	64 ~ 80 g/m ²	81 ~ 90 g/m ²	91 ~ 105 g/m ²
	A4、B5、LT、8.5"SQ、16K	50 枚	30 枚	30 枚
	A3、A4-R、B4、FOLIO、LD、LG、LT-R、COMP、13"LG、8K	30 枚	15 枚	15 枚
ステイプル位置	手前 1 か所、奥 1 か所、2 か所			
電源	本体より供給			
大きさ	幅 535 mm × 奥行 598 mm × 高さ 1092 mm			
質量	約 34 kg			
最大消費電力	70W 以下			

フィニッシャ (MJ-1101) のトレイ積載量

単位：mm ± 7 mm
() 内は 80 g/m² 紙相当枚数

上部固定トレイ

同一サイズの場合	
モード	ノンソート
A4、A5-R、B5、LT、ST-R、8.5"SQ、はがき、16K	36.75 mm (250)
A3、A4-R、B4、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT-R、COMP、13"LG、8K、16K-R	18.4 mm (125)

下部可動トレイ

同一サイズの場合			
モード	ノンソート	ソート/グループ	ステイプル
A4、B5、LT、8.5"SQ、16K	250 mm (2000)	250 mm (2000)	250 mm、または 2000 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの
A3、A4-R、B4、FOLIO、LD、LG、LT-R、COMP、13"LG、8K	140 mm (1000)	140 mm (1000)	140 mm、または 1000 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの

サイズ混載時のトレイ積載量は、大きな用紙の仕様となります。

サドルステッチフィニッシャ (MJ-1024)

型名	MJ-1024 (DP-3570/DP-4570 用)			
形式	床置き型 (コンソールタイプ)			
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP、8.5" SQ、13"LG、はがき、8K、16K、16K-R			
用紙の坪量	52 ~ 209 g/m ²			
ステイプル枚数 (表紙 2 枚 (64 ~ 209 g/m ²) を含む)	用紙サイズ	64 ~ 80 g/m ²	81 ~ 90 g/m ²	91 ~ 105 g/m ²
	A4、B5、LT	50 枚	30 枚	30 枚
	A3、A4-R、B4、FOLIO、LD、LG、LT-R、COMP	30 枚	25 枚	15 枚
ステイプル位置	手前 1 か所、奥 1 か所、2 か所			
サドルステッチ綴じ枚数 (表紙 1 枚 (64 ~ 209 g/m ²) を含む)	用紙サイズ	64 ~ 80 g/m ²	81 ~ 90 g/m ²	91 ~ 105 g/m ²
	A3、A4-R、B4、LD、LT-R	15 枚	6 枚	6 枚
電源	本体より供給			
大きさ	幅 649 mm × 奥行 657 mm × 高さ 1086 mm			
質量	約 70 kg			
最大消費電力	170 W 以下			

サドルステッチフィニッシャ (MJ-1024) のトレイ積載量

単位：mm ± 7 mm
() 内は 80 g/m² 紙相当枚数

同一サイズの場合						
モード トレイ No.	ノンソート		ソート/グループ		ステイプル	
	1	2	1	2	1	2
A4、A5-R、B5、LT、ST-R	147 mm (1000)		147 mm (1000)		147 mm、または 1000 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの	147 mm、または 1000 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの
A3、A4-R、B4、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT-R、COMP	73.5 mm (500)		73.5 mm (500)		73.5 mm、または 500 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの	73.5 mm、または 500 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの

- ・ A5-R、ST-R、B5-R はソート/グループ/ステイプル不可
- ・ サドルステッチトレイの積載量はコピーガイドを参照
- ・ 排紙トレイに用紙が残っている状態で、次の出力を行った場合は、混載サイズと同じ積載量となります。

混載サイズの場合						
モード トレイ No.	ノンソート		ソート/グループ		ステイプル	
	1	2	1	2	1	2
A3 と A4 の混載	73.5 mm (500)		73.5 mm (500)		73.5 mm、または 500 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの	73.5 mm、または 500 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの
B4 と B5 の混載						
FOLIO と A4-R の混載						
LD と LT の混載						
LG と LT-R の混載						

1

2

3

4

5

サドルステッチフィニッシャ (MJ-1025)

型名	MJ-1025 (DP-2520 用)		
形式	床置き型 (コンソールタイプ)		
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP、8.5" SQ、13"LG、はがき、8K、16K、16K-R		
用紙の坪量	52 ~ 209 g/m ²		
ステイプル枚数	用紙サイズ	64 ~ 80 g/m ²	81 ~ 90 g/m ²
	A4、A4-R、B5、LT、LT-R	50 枚	30 枚
	A3、B4、FOLIO、LD、LG、COMP	25 枚	25 枚
ステイプル位置	手前 1 か所綴じ、奥 1 か所綴じ、2 か所綴じ		
サドルステッチ綴じ枚数 (表紙 1 枚 (64 ~ 128g/m ²) を含む)	用紙サイズ	64 ~ 80 g/m ²	
	A3、A4-R、B4、LD、LT-R	10 枚	
電源	本体より供給		
大きさ	幅 538 mm x 奥行 603 mm x 高さ 1011 mm (サブトレイ収納時)		
質量	約 38 kg		
最大消費電力	60 W 以下		

サドルステッチフィニッシャ (MJ-1025) のトレイ積載量

単位：mm ± 7 mm
() 内は 80 g/m² 紙相当枚数

同一サイズの場合			
モード	ノンソート	ソート/グループ	ステイプル
トレイ No.	1	1	1
A4、A4-R、B5、LT、LT-R	160 mm (1000)	160 mm (1000)	160 mm、または 1000 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの
B5-R、A5-R、ST-R	160 mm (1000)	—	—
A3、B4、FOLIO、LD、LG、COMP	80 mm (500)	80 mm (500)	80 mm、または 500 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの

- ・ A5-R、ST-R、B5-R はソート/グループ/ステイプル不可
- ・ サドルステッチトレイの積載量はコピーガイドを参照

混載サイズの場合			
モード	ノンソート	ソート/グループ	ステイプル
トレイ No.	1	1	1
A3 と A4 の混載	80 mm (500)	80 mm (500)	80 mm、または 500 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの
B4 と B5 の混載	80 mm (500)	80 mm (500)	
LD と LT の混載	80 mm (500)	80 mm (500)	
LG と LT-R の混載	80 mm (500)	80 mm (500)	

ハンギングフィニッシャ (MJ-1031)

型名	MJ-1031			
形式	吊り下げ型 (ハンギングタイプ)			
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP、8.5"SQ、13"LG、はがき、8K、16K、16K-R			
用紙の坪量	52 ~ 209 g/m ²			
ステイプル枚数 (表紙 2 枚 (64 ~ 209g/m ²) を含む)	用紙サイズ	64 ~ 80 g/m ²	81 ~ 90 g/m ²	91 ~ 105 g/m ²
	A4、B5、LT	50 枚	26 枚	24 枚
	A3、A4-R、B4、FOLIO、LD、LG、LT-R、COMP	30 枚	15 枚	15 枚
ステイプル位置	奥 1 か所			
電源	本体より供給			
大きさ	幅 411 mm × 奥行 594.2 mm × 高さ 382.4 mm			
質量	約 12 kg			
最大消費電力	50 W 以下			

ハンギングフィニッシャ (MJ-1031) のトレイ積載量

単位：mm ± 4 mm
() 内は 80 g/m² 紙相当枚数

同一サイズの場合			
モード	ノンソート	ソート/グループ	ステイプル
A4、A5-R、B5、LT、ST-R、8.5"SQ	130 mm (1000)	130 mm (1000)	130 mm、または 1000 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの
A3、A4-R、B4、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT-R、COMP、13"LG	65 mm (500)	65 mm (500)	65 mm、または 500 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの

- ・ A5-R、ST-R、B5-R はソート/グループ/ステイプル不可
- ・ 排紙トレイに用紙が残っている状態で、次の出力を行った場合は、混載サイズと同じ積載量となります。

混載サイズの場合			
モード	ノンソート	ソート/グループ	ステイプル
A3 と A4 の混載	65 mm (500)	65 mm (500)	65 mm、または 500 枚または 30 部のいずれか早く到達したもの
B4 と B5 の混載			
FOLIO と A4-R の混載			
LD と LT の混載			
LG と LT-R の混載			

1

2

3

4

5

インナートレイ (MJ-5004)

型名	MJ-5004 (DP-2520 用)	
用紙サイズ	定形サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、はがき ^{*1} 、長形3号 (120 mm × 235 mm) ^{*1} 、洋形4号 (105 mm × 235 mm) ^{*1} 、DL (110 mm × 220 mm) ^{*1} 、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP、13"LG、8.5"SQ、COM10 (4 1/8" × 9 1/2") ^{*1} 、Monarch (3 7/8" × 7 1/2") ^{*1} 、8K、16K、16K-R
	非定形サイズ	縦：100～297 mm、横：148～432 mm の範囲の用紙
用紙の坪量	上段	52～105 g/m ²
	下段	52～209 g/m ²
トレイ容量	上段	25 mm (150 枚) ^{*2}
	下段	40 mm (250 枚) ^{*2}
電源	本体より供給	
大きさ	幅 498 mm × 奥行 415 mm × 高さ 153 mm	
質量	約 3.3 kg	

*1 下段トレイに排紙されます。

*2 () 内は 80 g/m² 紙相当の枚数です。

インナートレイ (MJ-5006)

型名	MJ-5006 (DP-3570/DP-4570 用)	
用紙サイズ	定形サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R ^{*1} 、B4、B5、B5-R、FOLIO、はがき ^{*2} 、LD、LG、LT、LT-R、ST-R ^{*1} 、COMP、13"LG、8.5"SQ、8K、16K、16K-R ^{*1}
	非定形サイズ	縦：100～297 mm、横：148～432 mm の範囲の用紙 ^{*1}
用紙の坪量	上段	52～105 g/m ²
	下段	52～209 g/m ²
トレイ容量	上段	25 mm (150 枚) ^{*3}
	下段	40 mm (250 枚) ^{*3}
電源	本体より供給	
質量	約 1.5 kg	

*1 上段トレイに排紙されます。

*2 下段トレイに排紙されます。

*3 () 内は 80 g/m² 紙相当の枚数です。

オフセットインナートレイ (MJ-5005)

型名	MJ-5005 (DP-2520 用)	
用紙サイズ	定形サイズ	A3 ^{*1} 、A4 ^{*1} 、A4-R ^{*1} 、A5-R、B4 ^{*1} 、B5 ^{*1} 、B5-R、FOLIO ^{*1} 、はがき、長形3号 (120 mm × 235 mm)、洋形4号 (105 mm × 235 mm)、DL (110 mm × 220 mm)、LD ^{*1} 、LG ^{*1} 、LT ^{*1} 、LT-R ^{*1} 、ST-R、COMP、13"LG、8.5"SQ ^{*1} 、COM10 (4 1/8" × 9 1/2")、Monarch (3 7/8" × 7 1/2")、8K ^{*1} 、16K ^{*1} 、16K-R
	非定形サイズ	縦：100～297 mm、横：148～432 mm の範囲の用紙
用紙の坪量	52～209 g/m ²	
トレイ容量	39 mm (250 枚) ^{*2}	
オフセット量	約 30 mm	
電源	本体より供給	
大きさ	幅 500 mm × 奥行 415 mm × 高さ 169 mm	
質量	約 3.5 kg	

*1 出力する用紙を一部ごとにずらして出力できます。

*2 () 内は 80 g/m² 紙相当の枚数です。

ホールパンチユニット (MJ-6101E)

型名	MJ-6101E (DP-3570/DP-4570 用)
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、COMP、8.5"SQ、13"LG、8K、16K、16K-R
用紙の坪量	52 ~ 209 g/m ² (OHP 等特殊紙不可)
パンチ穴数 (穴径)	2 穴 (直径 6.5 mm)
大きさ	幅 112 mm × 奥行 573 mm × 高さ 323 mm (下カバー含まず)
質量	約 7 kg

ホールパンチユニット (MJ-6004E)

型名	MJ-6004E (DP-3570/DP-4570 用)
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、COMP、8.5" SQ、13"LG、8K、16K、16K-R
用紙の坪量	52 ~ 209 g/m ² (OHP 等特殊紙不可)
パンチ穴数 (穴径)	2 穴 (直径 6.5 mm)
大きさ	幅 112 mm × 奥行 617 mm × 高さ 378 mm (下カバー含まず)
質量	約 9 kg

ホールパンチユニット (MJ-6005E)

型名	MJ-6005E (DP-2520 用)
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、COMP、8.5" SQ、13"LG、8K、16K、16K-R
用紙の坪量	52 ~ 209 g/m ² (OHP 等特殊紙不可)
パンチ穴数 (穴径)	2 穴 (直径 6.5 mm)
大きさ	幅 104 mm × 奥行 556 mm × 高さ 174 mm
質量	約 2.6 kg

中継ユニット

型名	KN-2520
----	---------

1

2

3

4

5

FAX ユニット

型名	GD-1250J
原稿サイズ	A3、A4、A4-R、A5、A5-R、B4、B5、B5-R
記録紙サイズ	297 mm ~ 420 mm (A3)、210 mm ~ 297 mm (A4)、148 mm ~ 210 mm (A5)、 257 mm ~ 364 mm (B4)、182 mm ~ 257 mm (B5)
伝送モード	独自モード、ECM、G3
送受信解像度	主走査線密度：8 ドット /mm、16 ドット /mm、300dpi
	副走査線密度：3.85 本 /mm、7.7 本 /mm、15.4 本 /mm、300 dpi
伝送速度	33,600/31,200/28,800/26,400/24,000/21,600/19,200/16,800/14,400/12,000/9,600/7,200/4,800/ 2,400 bps
符号化方式	JBIG 方式 / MMR 方式 / MR 方式 / MH 方式
メモリ容量	送信用 / F コード：500 MB 受信用：500 MB ^{*1}
装置形態	卓上型 送受兼用型
適用回線	加入電話回線
直流抵抗値	291 Ω

*1 ハードディスクの容量は1MBを100万バイトで算出しています。
(実際に使用可能なハードディスクの容量は、操作環境に応じて多少の誤差が生じます。)

FAX ユニット (GD-1250J) の詳細は、**GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAX ユニット 取扱説明書**を参照してください。

記載している数値は、東芝推奨紙使用時のものです。仕様は予告なしに変更することがあります。

さくいん

アルファベット

CD-ROM	63
e-STUDIO255/355/455 の仕様	76
[EXTENSION] ボタン	36
FAX ユニット	67, 84
USB 端子	8
USB ポート	9

あ行

アラートメッセージ表示エリア	13
アラームランプ	10
インナートレイ	66, 82
オプション	77
オフセットインナートレイ	66, 82

か行

[カウンタ] ボタン	10
各部の名称と働き	8
紙づまり	48
機能表示	13
給紙カセット	8
給紙カバー	8
クライアントソフトウェア	64
[クリア] ボタン	10
[グループ選択] ボタン	36
原稿押さえ	9
原稿カバー	66
原稿ガラス	9
原稿スケール	9
原稿読み取り部	9
コピー	22, 52, 56, 59
[コピー] ボタン	10

さ行

サドルステッチフィニッシャー	40, 42, 66, 79, 80
自動両面原稿送り装置	8, 66, 77
自動両面ユニット	8
シャットダウンする	17
受信原稿あり/回線使用状況ランプ	10
主電源スイッチ	9
主電源ランプ	10
[状況確認] ボタン	13
推奨紙	75
スキャン	30, 54, 56, 59
[スキャン] ボタン	10
[スタート] ボタン	10
ステイプル針の補充	39
[ストップ] ボタン	10
[設定/登録] ボタン	10
[節電] ボタン	10
節電モード	18
前面カバー	8
操作パネル	
角度調整	12
角度を固定する	12
操作パネル	9
名称と働き	10

た行

大容量給紙装置	8, 66, 77
多段給紙装置	8, 66, 77
タッチパネル	9, 11, 13
チャージャ	46
中継ユニット	66, 83
追加給紙カセット	8, 66, 77

データ受信ランプ	10
手差しトレイ	8
テンキー	11
[電源] ボタン	10
電源ランプ	10
電源を入れる	16
電源を切る	17
テンプレート表示エリア	36
トータルプリントカウンタ	36
トナーカートリッジ	9
トナーカートリッジの交換	38
取扱説明書ポケット	8

な行

日常のお手入れ	45
[認証] ボタン	11
ネットワークインターフェイスコネクタ	8

は行

排紙ストopp	9
排紙トレイ	9
排紙補助トレイ	9
ハンギングフィニッシャー	44, 66, 81
日付表示	13
ファイリングボックス	32, 57
[ファイリングボックス] ボタン	10
ファクス	26, 55
[ファクス] ボタン	10
フィニッシャー	39, 66, 78
付属品	62
部門管理機能	69
部門コード	69
プリント	34, 53, 58
[プリント] ボタン	10
[ヘルプ] ボタン	13
ホールパンチユニット	67, 83
保守サービス	47

ま行

メッセージ表示エリア	13
メニュー	36
[メニュー] ボタン	10
文字入力のしかた	15

や行、ら行、わ行

ユーザ管理機能	70
ユーザ名表示エリア	36
用紙	
種類	74
セット	19
用紙押さえレバー	8
用紙サイズ表示窓	8
[リセット] ボタン	10
[割り込み] ボタン	10

担当サービスエンジニア→

故障・保守サービスのご用命は

商品に関するお問い合わせは

東芝テック コンタクトデスク

電話: 0120-201877

受付時間: 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

(土・日・祝祭日および年末年始、弊社休業日を除く)

お客様ご使用機種情報

モデル名

IPアドレス . . .

ファクス自局番号 - -

トナーカートリッジ T-4530J、T-4530J5K

ステイプル針 _____

サドルステッチ用ステイプル針 _____

<開発・製造元>

東芝テック株式会社

<販売元>

東芝テックビジネスソリューション株式会社

